

DIGISTOR スタンドアロン NVR シリーズ

日本語ユーザー・マニュアル

2.1.0.51

本マニュアルに記載された内容は、予告なく変更される場合があります。

© Copyright 2014, DIGIEVER Corporation. All rights reserved.

1.0 はじめに	6
1.1 ハードウェアの仕様	7
1.1.1 DS-2000 シリーズ	7
1.1.2 DS-4000 シリーズ	8
1.1.3 DS-1100 Pro シリーズ	9
1.1.4 DS-2100 Pro シリーズ	10
1.1.5 DS-4200 Pro シリーズ	11
1.1.6 DS-4200-RM Pro シリーズ	12
1.1.7 DS-8200-RM Pro シリーズ	13
1.2 LED インディケータの状態	14
1.2.1 DS-2000 シリーズ	14
1.2.2 DS-4000 シリーズ	16
1.2.3 DS-1100 Pro シリーズ	17
1.2.4 DS-2100 Pro シリーズ	18
1.2.5 DS-4200 Pro シリーズ	19
1.2.6 DS-4200-RM Pro シリーズ	21
1.2.7 DS-8200-RM Pro シリーズ	23
1.3 デュアル・モニター仕様：HDMI/VGA/DVI-I	25
2.0 NVR の準備	26
2.1 クライアント PC 要求仕様	26
2.2 NVR への接続	27
2.2.1 クイック・ガイド	27
2.2.2 EZ Search のインストール	27
2.2.3 S-NVR デコーダーのインストール	36
2.2.4 ユーザー・マニュアル	37
2.2.5 Browse CD	37
2.2.6 ライブ表示の実行	38
2.3 クイック設定	41
2.3.1 開始	41
2.3.2 ネットワーク設定	42

2.3.3	サーバー設定	43
2.3.4	日付と時間	45
2.3.5	ディスク管理	46
2.3.6	カメラ設定	53
2.3.7	完了	59
3.0	ローカル・ディスプレイでの操作	60
3.1	NVR へのログイン	60
3.1.1	匿名ログイン	61
3.1.2	バーチャル・キーボード	62
3.2	クイック設定	63
3.2.1	開始	63
3.2.2	ネットワーク設定	63
3.2.3	サーバー設定	64
3.2.4	日付と時間	64
3.2.5	ディスク管理	65
3.2.6	カメラ設定	68
3.2.7	完了	68
3.3	ライブ表示	69
3.3.1	ライブ表示モードの選択	69
3.3.2	ライブ表示の主な機能	70
3.4	録画再生	76
3.4.1	録画再生の準備	76
3.4.2	録画再生の主な機能	78
3.4.3	オーディオ再生	80
3.4.4	ファイルのエクスポート	81
3.4.5	スナップショット	82
3.5	その他	83
3.5.1	ローカル・ディスプレイのスナップショット	83
3.5.2	システムのアップグレード	83
3.5.3	USB バックアップ	83

4.0 PCでの操作	84
4.1 ライブ表示	84
4.1.1 表示モードの選択	84
4.1.2 ライブ表示の主な機能	85
4.1.3 映像ウィンドウ上の右クリック	93
4.1.4 マルチ・サーバー	96
4.2 録画再生	97
4.2.1 録画再生の準備	97
4.2.2 録画再生の主な機能	101
4.2.3 ファイルのエクスポート	104
4.3 映像ファイルの再生	105
4.3.1 Windows ネットワーク	105
4.3.2 FTP サービス	108
5.0 設定	110
5.1 IP カメラ	110
5.1.1 カメラ設定	110
5.1.2 録画／ライブ表示設定	110
5.1.3 カメラの状態	112
5.2 録画とイベント	113
5.2.1 録画モード	113
5.2.2 録画スケジュール	114
5.2.3 イベントと動作の管理	116
5.2.4 詳細設定	123
5.2.5 イベントのスケジュール	124
5.2.6 E メール	126
5.3 ディスク管理	127
5.3.1 ディスク管理	127
5.3.2 ファイル・システム管理	127
5.3.3 ファイル共有サービス	128
5.4 クラウド	129

5.4.1 Dropbox の設定	129
5.4.2 Dropbox サーバーへの共有ファイルの移動	130
5.4.3 設定の削除とオンライン同期	131
5.5 ネットワーク設定	132
5.5.1 ネットワークのセットアップ	132
5.5.2 ネットワーク・サービス	134
5.5.3 DDNS	135
5.6 管理	136
5.6.1 ユーザー管理	136
5.6.2 ログ・システム	138
5.6.3 設定の保存と読み込み	140
5.6.4 USB バックアップ	141
5.6.5 外部 IO 機器	144
5.6.6 UPS 管理	145
5.7 システム	146
5.7.1 デバイス情報	146
5.7.2 システムのアップグレード	147
5.7.3 言語	148
5.7.4 日付と時刻	149
5.7.5 ブザー	150
5.7.6 再起動とシャットダウン	150

1.0 はじめに

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、「クイック・インストレーション・ガイド」の「パッケージ内容」に記載されているものが全て揃っているかご確認ください。また、準備中のトラブルを避けるため、必ず「クイック・インストレーション・ガイド」と次項「ハードウェアの仕様」を最初にご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様

1.1.1 DS-2000 シリーズ

DS-2005 / 2009 / 2012 / 2016 / 2020 / 2025 / 2032

図 1-1 : DS-2000 シリーズの正面と背面



①LED インディケータ : LAN / eSATA / HDD1 / HDD2

②電源ボタン

③USB バックアップ・ボタン

④USB 2.0 x 1 (自動バックアップで使用)

⑤HDD1

⑥HDD2

⑦ギガビット LAN

⑧USB 2.0 x 2

⑨eSATA x 2 (拡張用)

⑩DI/DO (入力 4 / 出力 2)

上から下に : Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 / DO-2

⑪リセット・ボタン

⑫電源コネクタ

⑬K ロック用スロット

1.1.2 DS-4000 シリーズ

DS-4005 / 4009 / 4012 / 4016 / 4020 / 4025 / 4032

図 1-2 : DS-4000 シリーズの正面と背面



①LED インディケーター : LAN / eSATA / HDD1 / HDD2 / HDD3 / HDD4

②電源ボタン

③USB バックアップ・ボタン

④USB 2.0 x 1 (自動バックアップで使用)

⑤HDD1

⑥HDD2

⑦HDD3

⑧HDD4

⑨ギガビット LAN

⑩USB 2.0 x 2

⑪eSATA x 2 (拡張用)

⑫DI/DO (入力 4 / 出力 2)

上から下に : Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 / DO-2

⑬リセット・ボタン

⑭電源コネクター

⑮K ロック用スロット

1.1.3 DS-1100Pro シリーズ

DS-1105Pro / 1109Pro / 1112Pro / 1116Pro / 1120Pro /
1125Pro/1132Pro



図 1-3 : DS-1100Pro シリーズの正面と背面

- ①電源ボタン
- ②LED インディケータ : HDD1
- ③USB 2.0 x 1 (自動バックアップで使用)
- ④USB 2.0 x 1
- ⑤電源コネクタ
- ⑥USB 3.0 x 2
- ⑦DVI-I
- ⑧eSATA x 1
- ⑨HDMI x 1
- ⑩ギガビット LAN
- ⑪USB 2.0 x 2
- ⑫オーディオ入力
- ⑬オーディオ出力

1.1.4 DS-2100Pro シリーズ

DS-2105Pro / 2109Pro / 2112Pro / 2116Pro / 2120Pro /
2125Pro/2132Pro



図 1-4 : DS-2100Pro シリーズの正面と背面

- ①電源ボタン
- ②LED インディケータ : HDD1
- ③USB 2.0 x 1 (自動バックアップで使用)
- ④USB 2.0 x 1
- ⑤電源コネクター
- ⑥USB 3.0 x 2
- ⑦DVI-I
- ⑧eSATA x 1
- ⑨HDMI x 1
- ⑩ギガビット LAN
- ⑪USB 2.0 x 2
- ⑫オーディオ入力
- ⑬オーディオ出力

1.1.5 DS-4200Pro シリーズ

DS-4205Pro / 4209Pro / 4212Pro / 4216Pro / 4220Pro /
4225Pro/4232 Pro



①LED インディケータ : LAN / eSATA / HDD1 / HDD2 / HDD3 /
HDD4

②電源ボタン

③USB バックアップ・ボタン

④USB 2.0 x1 (自動バックアップで使用)

⑤USB 2.0 x 2

⑥HDD1

⑦HDD2

⑧HDD3

⑨HDD4

⑩ギガビット LAN

⑪USB 2.0 x 4

⑫eSATA x 2 (拡張用)

⑬VGA x 1

⑭HDMI x 1

⑮DI/DO (入力 4 / 出力 2)

上から下に : Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 /
DO-2

⑯リセット・ボタン

⑰電源コネクター

⑱K ロック用スロット

1.1.1.6 DS-4200-RM Pro シリーズ

DS-4209-RM Pro / 4212-RM Pro / 4216-RM Pro / 4220-RM Pro / 4225-RM Pro / 4232-RM Pro



図 1-6 : DS-4200-RM Pro シリーズの正面と背面

①LED インディケータ : LAN1 / LAN2 / eSATA / HDD1 / HDD2 / HDD3 /

HDD4

②電源ボタン

③USB バックアップ・ボタン

④USB 3.0 x1 (自動バックアップで使用)

⑤HDD1

⑥HDD2

⑦HDD3

⑧HDD4

⑨ギガビット LAN x 2

⑩USB 2.0 x 4

⑪eSATA x 2 (拡張用)

⑫VGA x 1

⑬HDMI x 1

⑭DI/DO (入力 4 / 出力 2)

右から左に : Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 / DO-2

⑮リセット・ボタン

⑯電源コネクター

1.1.7 DS-8200-RM Pro シリーズ

DS-8209-RM Pro / 8212-RM Pro / 8216-RM Pro / 8220-RM Pro
8225-RM Pro / 8232-RM Pro

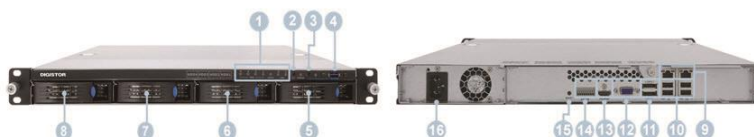


図 1-7 : DS-8200-RM Pro シリーズの正面と背面

①LED インディケーター : LAN1 / LAN2 / eSATA / HDD1 / HDD2 /
HDD3 / HDD4 / HDD5 / HDD6 / HDD7 / HDD8

②電源ボタン

③USB バックアップ・ボタン

④USB 3.0 x1 (自動バックアップで使用)

⑤HDD1

⑥HDD2

⑦HDD3

⑧HDD4

⑨HDD5

⑩HDD6

⑪HDD7

⑫HDD8

⑬ギガビット LAN x 2

⑭USB 2.0 x 4

⑮eSATA x 2 (拡張用)

⑯VGA x 1

⑰HDMI x 1

⑱DI/DO (入力 4 / 出力 2)

右から左に : Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 /
DO-2

⑲リセット・ボタン

⑳電源コネクター

1.2 LED インディケーターの状態

1.2.1 DS-2000 シリーズ

DS-2005 / 2009 / 2012 / 2016 / 2020 / 2025 / 2032



図 2-1 : DS-2000 シリーズの正面と RJ-45 ポート

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1 HDD2	消灯	HDD が装着されていない状態
	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の 状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意：

- * USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

1.2.2 DS-4000 シリーズ

DS-4005 / 4009 / 4012 / 4016 / 4020 / 4025 / 4032

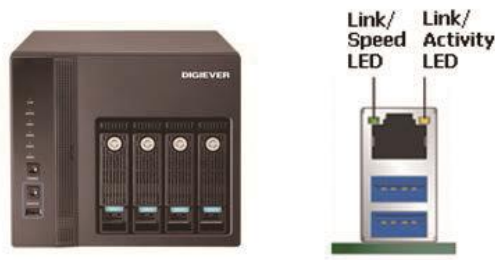


図 2-2 : DS-4000 シリーズの正面と RJ-45 ポート

正面の LED の状態 :

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1	消灯	HDD が装着されていない状態
HDD2	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
HDD3	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
HDD4	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意：

- * USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

1.2.3 DS-1100Pro シリーズ



DS-1105Pro / 1109Pro / 1112Pro / 1116Pro /
1120Pro / 1125Pro / 1132Pro

図 2-3：DS-1100Pro シリーズの正面

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		点滅	LAN 接続が確立している状態
		点灯	100M 接続している状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の状態
		イエロー	1000M 接続の状態

注意：

- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

1.2.4 DS-2100Pro シリーズ

DS-2105Pro / 2109Pro / 2112Pro / 2116Pro / 2120Pro / 2125Pro
/ 2132Pro



図 2-4 : DS-2100Pro シリーズの正面

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		点滅	LAN 接続が確立している状態
		点灯	100M 接続している状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の 状態
		イエロー	1000M 接続の状態

注意：

- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

1.2.5 DS-4200Pro シリーズ

DS-4205Pro / 4209Pro / 4212Pro / 4216Pro / 4220Pro / 4225Pro / 4232Pro



図 2-5 : DS-4200Pro シリーズの正面と RJ-45 ポート

正面の LED の状態 :

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1	消灯	HDD が装着されていない状態
HDD2	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
HDD3	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
HDD4	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の 状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意 :

- * USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

1.2.6 DS-4200-RM Pro シリーズ

DS-4209-RM Pro / 4212-RM Pro / 4216-RM Pro / 4220-RM Pro
4225-RM Pro / 4232-RM Pro



図 2-6 : DS-4200-RM Pro シリーズの正面と RJ-45 ポート

正面の LED の状態 :

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1	消灯	HDD が装着されていない状態
HDD2	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
HDD3	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
HDD4	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の 状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意：

- * USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * HDD トレーの LED は拡張用です。

1.2.7 DS-8200-RM Pro シリーズ

DS-8209-RM Pro / 8212-RM Pro / 8216-RM Pro / 8220-RM Pro
8225-RM Pro / 8232-RM Pro



図 2-7 : DS-8200-RM Pro シリーズの正面と RJ-45 ポート

正面の LED の状態 :

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1	消灯	HDD が装着されていない状態
HDD2	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
HDD3	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
HDD4	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態：

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の 状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意：

- * USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * HDD トレーの LED は拡張用です。

1.3 デュアル・モニター仕様 : HDMI/VGA/DVI-I

DS-4200Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-8200-RM Pro シリーズは映像出力用に HDMI と VGA ポートを持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力することが可能です。

DS-1100Pro シリーズと DS-2100Pro シリーズは映像出力用に HDMI と DVI-I ポー誌を持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力することが可能です。

組み合わせ A : ディスプレイが 2 台ともフル HD (1920 x 1080) 解像度の場合、どちらもフル HD で表示されます。

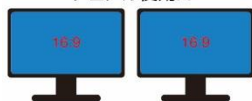
組み合わせ B : ディスプレイが 2 台とも VGA (1024 x 768) 解像度の場合、どちらも VGA で表示されます。

組み合わせ C : ディスプレイの 1 台がフル HD、もう 1 台が VGA 解像度の場合、どちらも VGA で表示されます。

ディスプレイ1台のみ接続

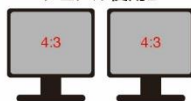


デュアル使用A



両方ともフルHD解像度なら
フルHDで表示

デュアル使用B



両方ともVGA解像度なら
VGAで表示

デュアル使用C



どちらかがVGA解像度なら
VGAで表示

2.0 NVR の準備

2.1 クライアント PC の要求仕様

DIGISTOR に接続して使用する PC に最低限必要な仕様は以下の通りです。

- **オペレーティング・システム**

Microsoft® Windows® Vista / 7 / 8 (32-bit または 64-bit)

- **ブラウザ**

Microsoft® Internet Explorer 8.0 以降 (32-bit)

- **CPU**

カメラ 16 台以下 : Intel® Dual core CPU 3.0 GHz 以上

カメラ 16 台超 : Intel® i5/i7 CPU 3.3 GHz 以上

- **ネットワーク**

100MB イーサネット (ギガビット・イーサネット推奨)

注意 : カメラと NVR はギガビット・スイッチに接続してください。

- **メモリ**

カメラ 16 台以下 : DDR3 4G 以上

カメラ 16 台超 : DDR3 8G 以上

- **グラフィック・アダプター**

AGP または PCI-Express、1024 x 768 以上の解像度、16 ビット・カラー、メモリ 1GB 以上。

注意 : グラフィック・アダプターは 1024 x 768 以上の解像度推奨。

・ディスプレイの DPI 設定の初期値は 96DPI です。

・DPI 値を変更する時はデスクトップを右クリックして設定タブ > 詳細 > 一般。

- **CD-ROM ドライブ**

CD-ROM 内のデータ閲覧時に必要になります。

- **Adobe Reader**

マニュアルなどを閲覧するのに必要です。

オーディオ機能を使用するためには PC にサウンド・カードが必要です。

2.2 NVR への接続

まず、クイック・ガイドやマニュアルを読んだり、ユーティリティをインストールするために PC に CD-ROM を入れます。

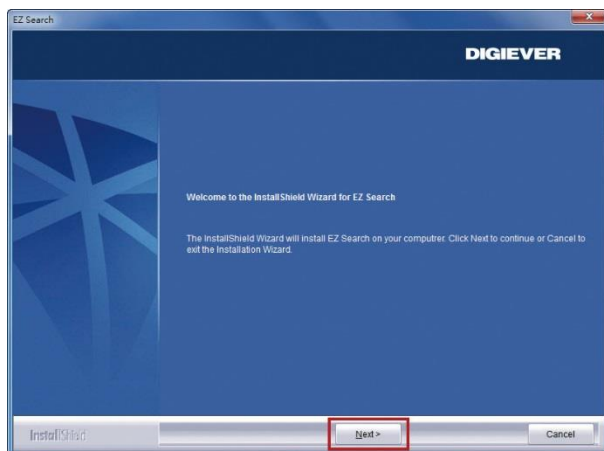


2.2.1 クイック・ガイド

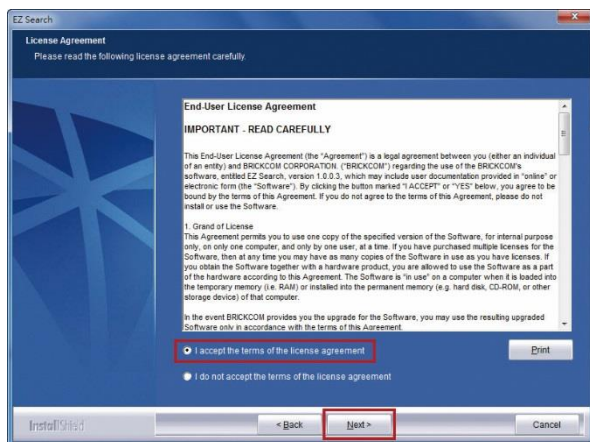
「Quick Guide」をクリックしてフォルダへ移動してから、ダブルクリックしてファイルを開きます。クイック・ガイドを読めば、NVR の設置手順が理解できます。

2.2.2 EZ Search のインストール

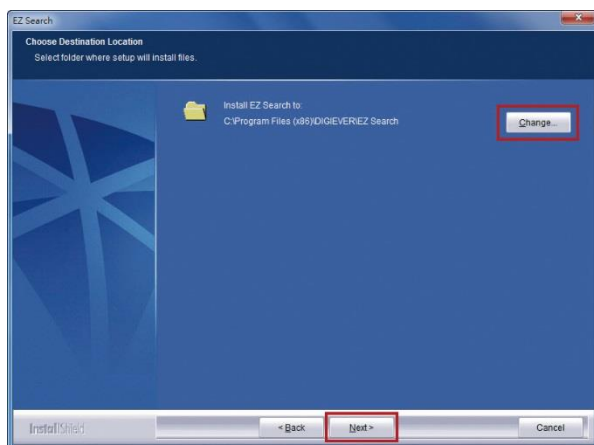
「Install EZ Search」をクリックしてユーティリティを PC にインストールします。インストール後、自動で起動します。



EZ Searchをインストールする際、Shield Wizardが起動します。「Next」をクリックしてインストールを続けます。



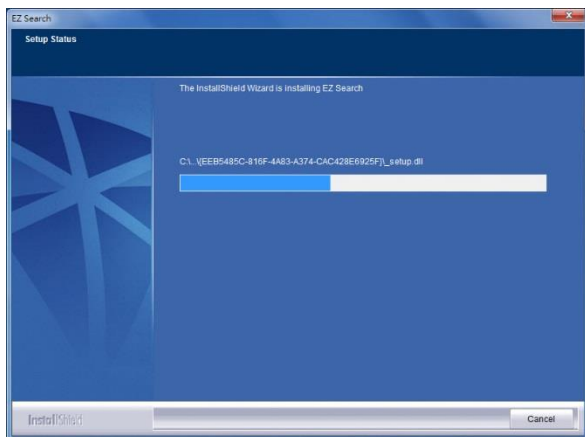
ライセンスの内容をよくお読みになった上で、その内容に同意できる時は該当する項目にチェックを入れて「Next」をクリックしてください。



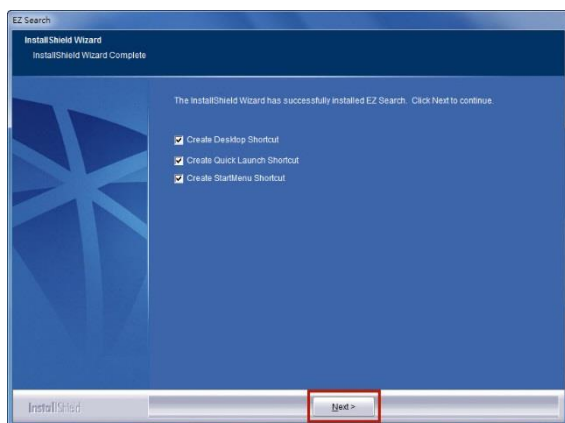
EZ Search は C:\Program Files (x86)\DIGIEVER\EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change」をクリックして任意のフォルダにインストールできます。



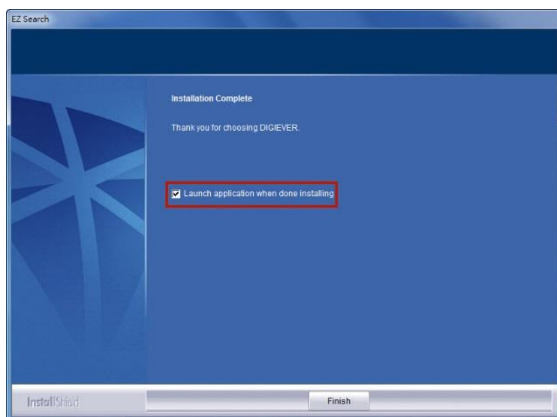
インストール先のフォルダが決ったら、「OK」をクリックしてインストールを続けます。



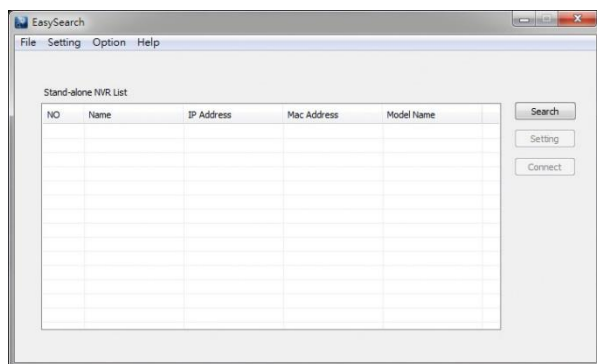
EZ Search のインストール中は上のようなウィンドウが表示されます。
インストールが完了するまでお待ちください。



インストールに成功した状態です。「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



インストールが完了した状態です。「Launch application when done installing」にチェックを入れて EZ Search を起動してください。「Finish」をクリックすると起動します。

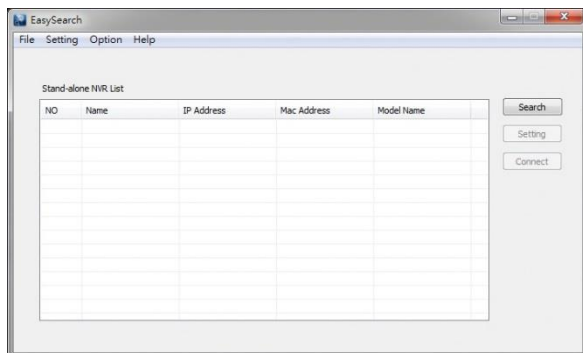


Easy Search は同一サブネット上の DIGISTOR を検出し、NO.、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「Search」をクリックすると検出を開始します。

EZ Search の使い方

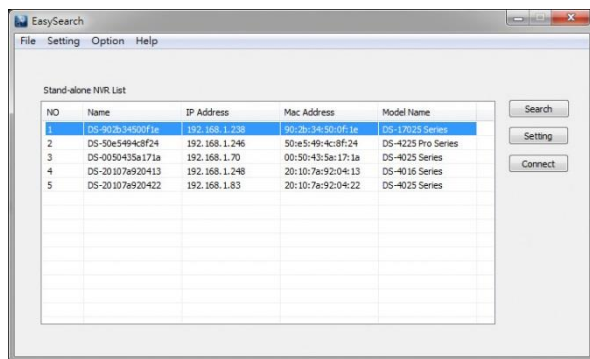
EZ Search には三つのツール・バーがあります。

1. ファイル



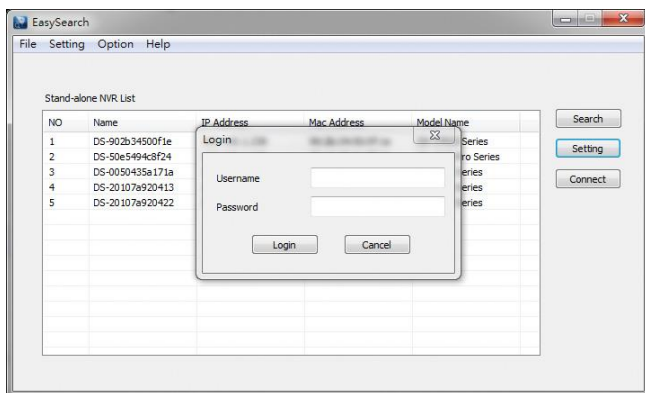
「Exit」をクリックすると EZ Search は終了します。

2. 設定

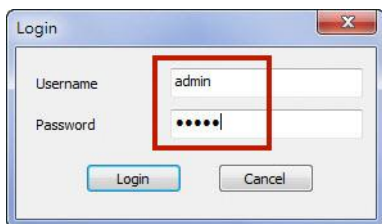


NVR の UPNP またはネットワーク設定を変更する時は、上または右の「Setting」をクリックしてください。

注意: 設定を変更するためには、NVR の管理者 ID とパスワードを知っていただければなりません。

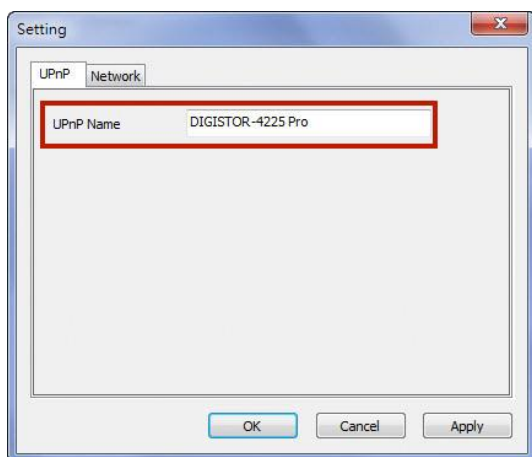


NVR の設定を変更する際、ユーザー名とパスワードを入力します。初期設定ではどちらも「admin」です。正しい情報を入力したら「Login」をクリックします。



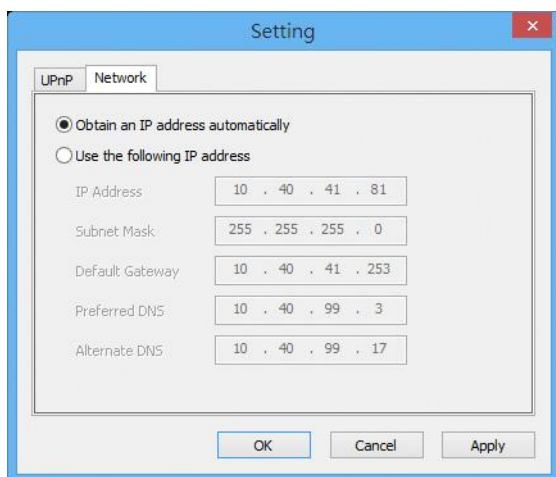
1) UPnP

Universal Plug and Play (UPnP) によって、簡単に NVR に接続できます。NVR を LAN に接続するだけで検出が可能になります。UPnP で表示される名称を変更できます。「Finish」をクリックして設定を終了してください。

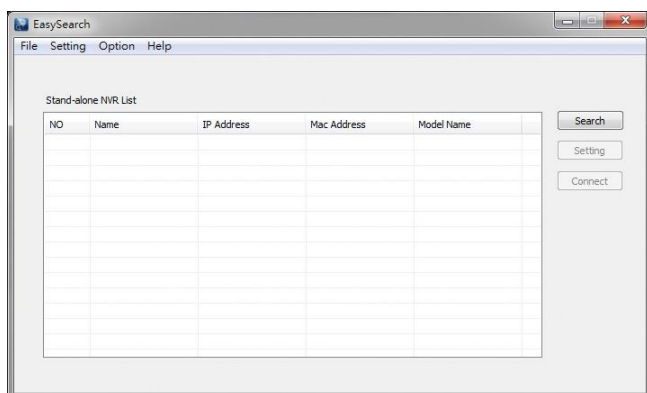


2) ネットワーク

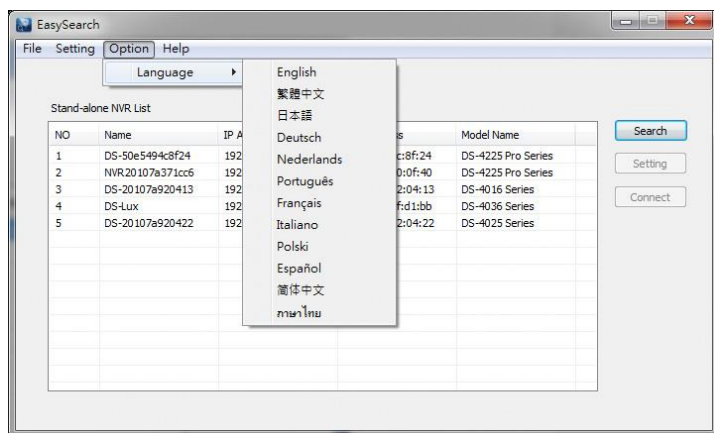
ネットワーク設定には DHCP と固定 IP の 2 種類があります。



3. オプション



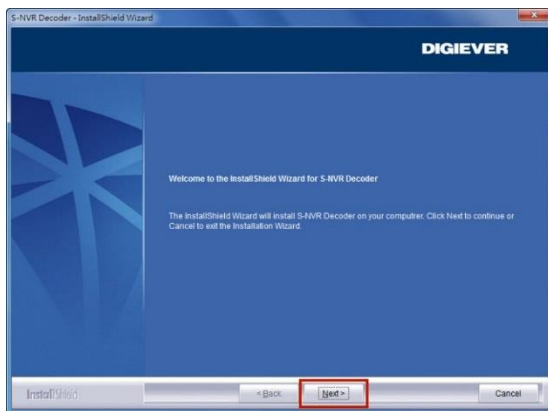
表示言語を変更できます。



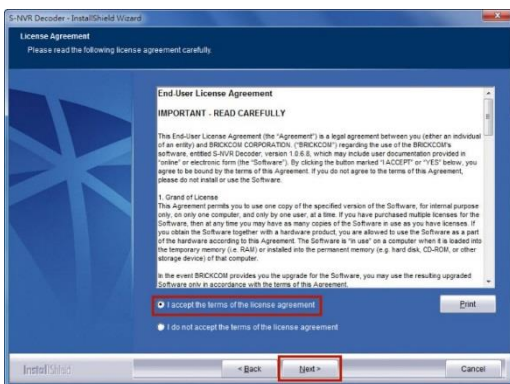
リストにある NVR を選んで「Connect」をクリックするか、NVR 名をダブルクリックすると、ブラウザが立ち上がって NVR に接続します。

2.2.3 S-NVR デコーダーのインストール

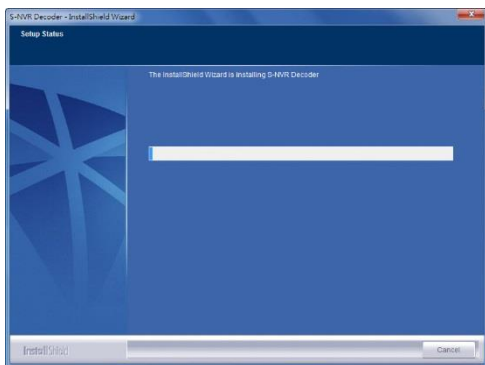
「Install S-NVR Decoder」をクリックし、以下の手順でインストールを行います。



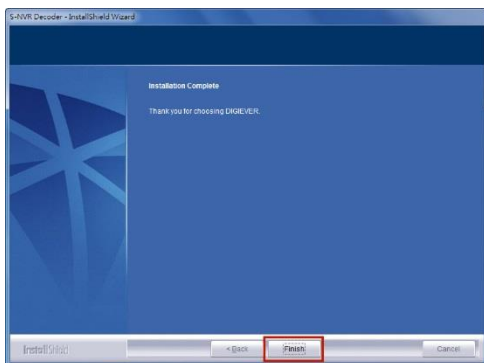
Install Shield Wizard が起動するので、「Next」をクリックしてインストールを開始します。



ライセンスの内容をよくお読みになった上で、その内容に同意できる時は該当する項目にチェックを入れて「Next」をクリックしてください。



S-NVR デコーダーのインストールが開始されます。



インストールが完了したら「Finish」をクリックしてウィンドウを閉じます

2.2.4 ユーザー・マニュアル

「User Manual」をクリックしてフォルダを開き、ファイルをダブルクリックします。

2.2.5 Browse CD

Autorun.exe file があるフォルダを開く時は「Browse CD」をクリックしてください。

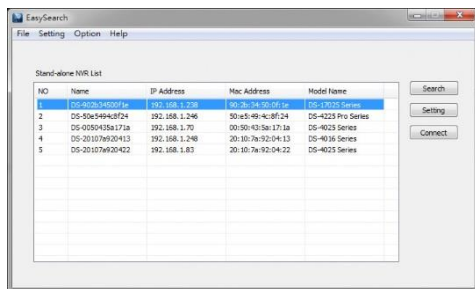
2.2.6 ライブ表示の実行

1.NVR への接続

EZ Search と S-NVR デコーダーのインストールが終わったら、ブラウザを用いて NVR に接続できます。

1) EZ Search を使って接続する

リストから NVR を選んで「Connect」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動します。



2) ブラウザを立ち上げてから接続する

NVR の IP アドレスを入力して接続してください。

2. ユーザー名とパスワードの入力

初期値はどちらも「admin」です。

3. 表示言語の選択

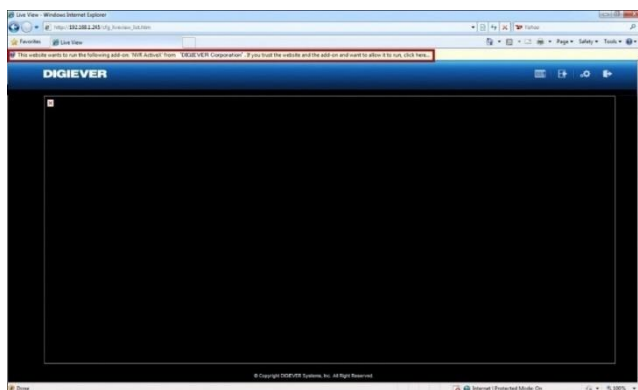


4. ActiveX Control 実行の許可

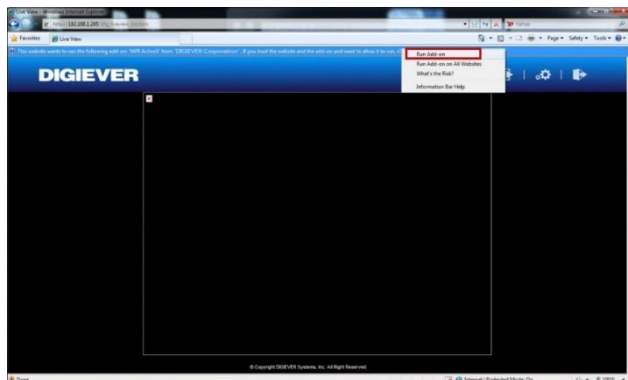
初めて NVR に接続した時、ActiveX Control をインストールする必要があります。

注意: NVR の IP アドレスをブラウザの「信頼済みサイト」に登録してください。

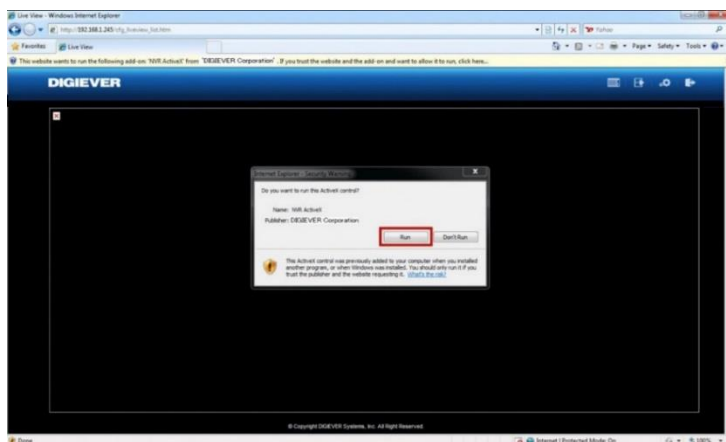
1) 「This website wants to run the following add-on: 'NVR ActiveX' from…」のメッセージを左クリックします。



2) 「Run Add on」を左クリックします。



3) ライセンス済み ActiveX control を使用するため「Run」をクリックします。



2.3 クイック設定

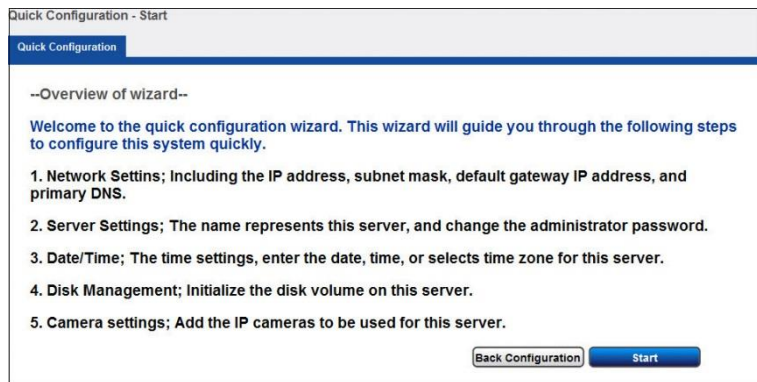
初めて DIGISTOR に接続し、ActiveX Control をインストールしたら、自動的にクイック設定ページへ移動します。次の五つのステップで設定が完了します。

2.3.1 開始

自動的に設定ユーティリティの開始へ移動します。



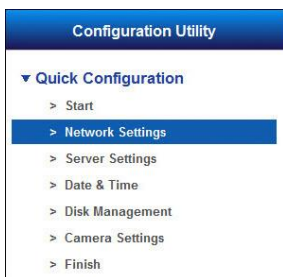
最初にどのような手順で設定が行われるのか確認してください。



「開始」をクリックするとクイック設定が始まります。

2.3.2 ネットワーク設定

設定ユーティリティから「ネットワーク設定」を選択します。



NVR をネットワーク内で正しく運用するためには、正確に設定する必要があります。

Quick Configuration - Network Setup

Internet Protocol	
☐ Obtain an IP address automatically	☒ Specify an IP address
IP Address	192.168.1.245
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway IP Address	192.168.1.1
Primary Domain Name Server	168.168.1.1
Secondary Domain Name Server	

Tip: To allow this server to be used for NTP or SMTP servers, you must provide the IP address of the primary DNS server and Default Gateway. The settings will be applied after you clicked the "Next" button.

Back Next

- IP アドレスの設定には二つの方法があります。

1. IP アドレスの自動割り当て（初期設定）

DHCP サーバーから動的な IP アドレスが付与されます。

2. 固定 IP アドレス

同一サブネット上に DHCP サーバーが存在しない時、固定 IP アドレス「192.168.1.245」を初期値とします。同一サブネット上に複数の NVR がある時は、IP アドレスを変更して運用してください。

NVR に固定 IP アドレスを設定する方法：

1. 「Specify an IP address」を選択。
2. IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、DNS サーバー・アドレスを入力します。
3. IP アドレスを変更したら、一度ログアウトして変更後の IP アドレスに再ログインしてください。

「Next」をクリックして設定を続けます。

2.3.3 サーバー設定

設定ユーティリティから「サーバー設定」を選択します。



Quick Configuration - Network Setup

A screenshot of the 'Network Setup' configuration screen. At the top is a blue header bar with the text 'Network Setup'. Below the header is a form titled 'Network Setup'. The form has several fields: 'Internet Protocol' with two radio buttons, 'Obtain an IP address automatically' (unselected) and 'Specify an IP address' (selected and highlighted with a red box); 'IP Address' with a text box containing '192.168.1.245' (highlighted with a red box); 'Subnet Mask' with a text box containing '255.255.255.0'; 'Default Gateway IP Address' with a text box containing '192.168.1.1'; 'Primary Domain Name Server' with a text box containing '168.168.1.1' and a small 'X' icon; and 'Secondary Domain Name Server' with an empty text box. Below the form is a 'Tip' section with text: 'Tip: To allow this server to be used for NTP or SMTP servers, you must provide the IP address of the primary DNS server and Default Gateway. The settings will be applied after you clicked the "Next" button.' At the bottom right are two buttons: 'Back' and 'Next'.

●UPnP サーバー名

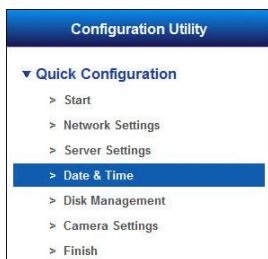
Universal Plug and Play (UPnP) で使用する NVR の名称です。

●パスワード設定

NVR のアカウント名、パスワードとも「admin」が初期値です。不正なアクセスを防止するため、パスワードを変更してください。新しいパスワードを「New Password」欄に入力し、確認のため「Retype Password」にもう一度入力してください。「次へ」をクリックすると新しいパスワードに変更されます。

2.3.4 日付と時刻

設定ユーティリティから「日付と時刻設定」を選択します。



1. マニュアル設定

ドロップダウン・リストを使って手動で設定してください。「次へ」をクリックすると設定が反映されます。

A screenshot of the 'Quick Configuration - Date/Time' window. It has a title bar and two tabs: 'Manual' (selected) and 'Time Zone'. Below the tabs is the heading 'Date and Time Setting by Manual'. There is a table with four rows for setting the date and time. The first row is 'Year' with a dropdown menu showing '2004'. The second row is 'Month' with a dropdown menu showing '1'. The third row is 'Day' with a dropdown menu showing '25'. The fourth row is 'Time' with three dropdown menus showing '15', '27', and '6'. At the bottom right of the form are two buttons: 'Back' and 'Next'.

2. タイム・ゾーン：タイム・サーバーとの同期

NVR をお使いになるエリアを選択し、タイム・サーバーと同期を行います。夏時間の設定も可能です。

注意：タイム・サーバーと同期を取るためには NVR がインターネット上のタイム・サーバーに接続できる環境になければなりません。

Quick Configuration - Date/Time

Manual Time Zone

Time Zone

Time Zone (GMT+08:00)Beijing, Chongqing, Hong Kong, Urumqi

☒ Adjust clock for daylight saving changes +2 hours

NTP Server time.stdtime.gov.tw network test NTP server is alive

Tip: Checked the network connection alive or not with Test. To ensure that the date and time of the network cameras is synchronized with this service, please set up all network cameras by entering the IP address of this service as their NTP server.

Back Next

日付と時刻の設定を正確に行わないと、

- 録画映像の時刻が不正確になる
- イベント・ログに記録される時刻が不正確になる

という問題が生じます。

使用可能なタイム（NTP）サーバーのアドレスを入力してください。

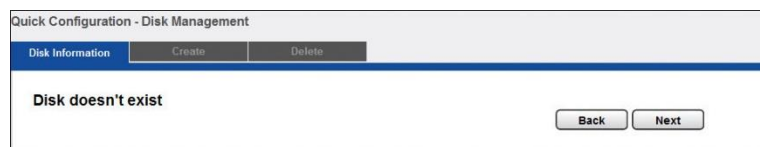
NTP（Network Time Protocol）とは、コンピューターの時刻を同期させるのに用いるプロトコルです。

2.3.5 ディスク管理

設定ユーティリティから「ディスク管理」を選択します。

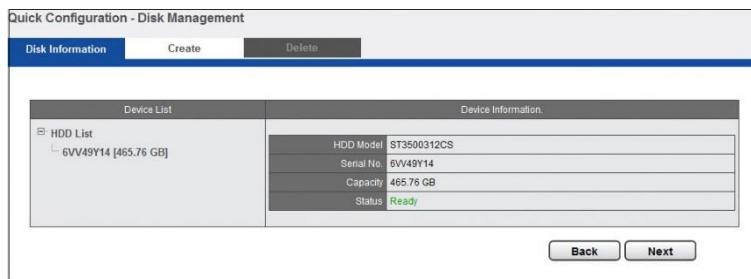


HDD が NVR に取り付けられていない時はその旨を示すメッセージが表示されます。



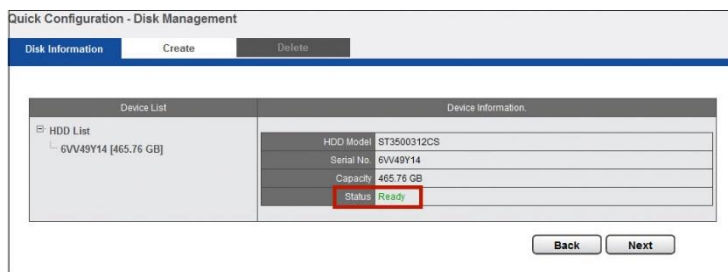
HDD が検出されると RAID (ディスク・ボリューム) を作成できます。

1. ディスク情報



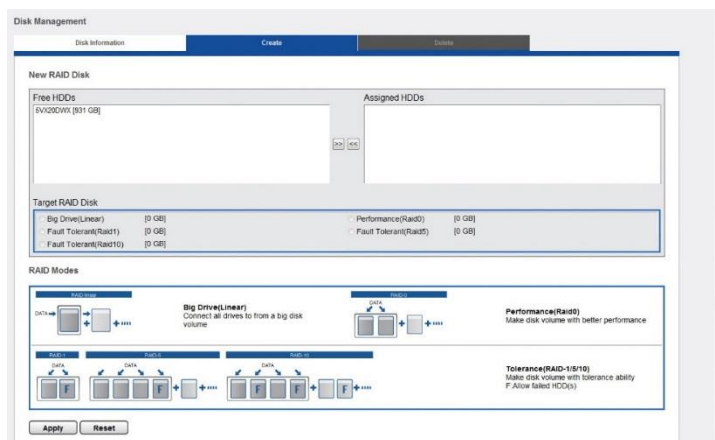
ハードディスク・ドライブの情報が表示されます： HDD 機種名、シリアル番号、容量、状態。

2.作成

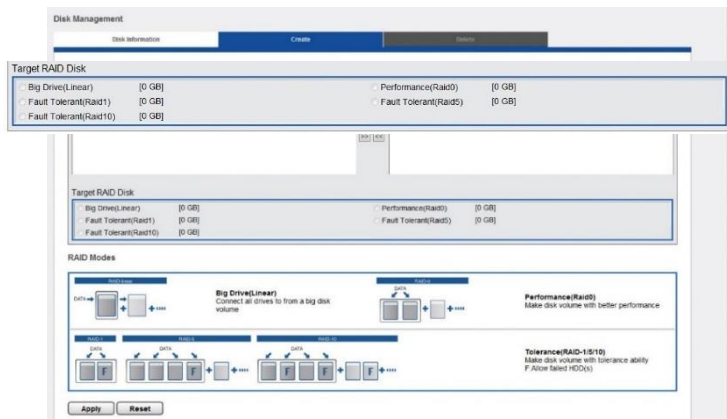


HDD が使用可能な時は「状態」に「Ready」と表示され、ディスク・ボリュームが作成できるようになります。

「作成」タブをクリックして、HDD を選んで RIAD を作成します。



選択した HDD にディスク・ボリュームを割り当てるため、「>>」をクリックして右側の欄へ移します。



割り当て HDD 欄の選択された HDD は青色で表示されます。
作成できる可能なディスク・ボリュームは以下の 5 種類です。

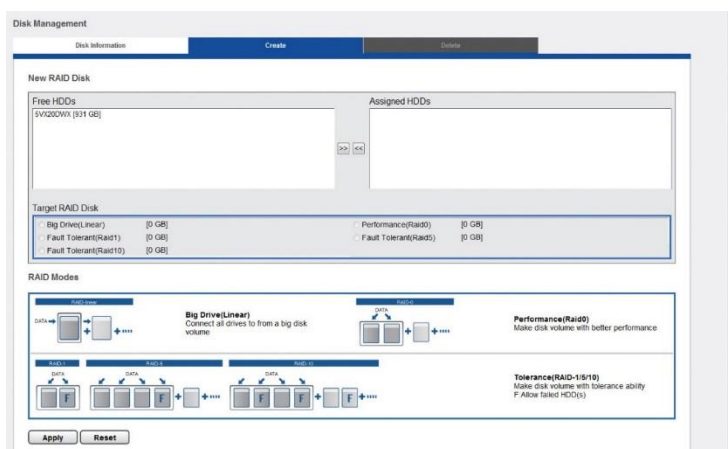
ディスク設定

ビッグ・ドライブ (リニア)	ビッグ・ドライブは HDD の容量を全て使用するもので、RAID による保護は行えません。データはディスクに連続的に記録されます。
パフォーマンス (RAID 0)	RAID 0 は、2 台以上の HDD を一つのボリュームにまとめる方法です。データはパリティ情報なしで記録されます。ストレージの容量は全ての HDD の合計になります。
フォールト・トレラント (RAID1)	RAID 1 を作成するのに HDD が 2 台必要です。2 台の HDD に同じデータを記録します(ミラーリング)。
フォールト・トレラント (RAID5)	RAID 5 を作成するのに 3 台以上の HDD が必要です。データは RAID 5 を構成する全ての HDD に断片的に記録され、各 HDD にはパリティ情報が保存されます。HDD が 1 台故障して新しい HDD と交換しても、残りの HDD に残された情報によってディスク・ボリュームが復元されます。

**フォールト・トレラント
(RAID10)**

データは主要ディスクに断片的に記録され、副ディスクにミラーリングされます。通常、RAID 10 は 4 台の HDD で構成され、2 台にストライピングでデータが記録され、残りの 2 台にミラーリングされます。

DS-8200-RM Pro、DS-4200-RM Pro、DS4200Pro シリーズが RAID 10 に対応しています。



ディスク・ボリュームのタイプを選択して「適用」をクリックすると、RAID の作成が始まります。

注意：RAID 作成中は、NVR の電源をオフにしたり、HDD を取り外したりしないでください。

Disk Information															
Create	Delete														
Device List - RAID List - RAID A [Big Drive, 465.75 GB] - HDD1	Device Information <table> <tr><td>RAID Name</td><td>RAID A</td></tr> <tr><td>Level</td><td>linear</td></tr> <tr><td>Capacity</td><td>465.75 GB</td></tr> <tr><td>Status</td><td>active</td></tr> <tr><td>Action State</td><td>clean</td></tr> <tr><td>Background Activity</td><td>none</td></tr> <tr><td>Progress</td><td>formatting ... 20%</td></tr> </table>	RAID Name	RAID A	Level	linear	Capacity	465.75 GB	Status	active	Action State	clean	Background Activity	none	Progress	formatting ... 20%
RAID Name	RAID A														
Level	linear														
Capacity	465.75 GB														
Status	active														
Action State	clean														
Background Activity	none														
Progress	formatting ... 20%														
Back Next															

上は 20%のフォーマットが完了した状態です。100%まで待ってください。

Disk Information															
Create	Delete														
Device List - RAID List - RAID A [Big Drive, 465.75 GB] - HDD1	Device Information <table> <tr><td>RAID Name</td><td>RAID A</td></tr> <tr><td>Level</td><td>linear</td></tr> <tr><td>Capacity</td><td>465.75 GB</td></tr> <tr><td>Status</td><td>active</td></tr> <tr><td>Action State</td><td>clean</td></tr> <tr><td>Background Activity</td><td>none</td></tr> <tr><td>Progress</td><td>none</td></tr> </table>	RAID Name	RAID A	Level	linear	Capacity	465.75 GB	Status	active	Action State	clean	Background Activity	none	Progress	none
RAID Name	RAID A														
Level	linear														
Capacity	465.75 GB														
Status	active														
Action State	clean														
Background Activity	none														
Progress	none														
Back Next															

「Create swap」に変化すると、RAID 作成の最終段階となります。RAID が完成した状態です。

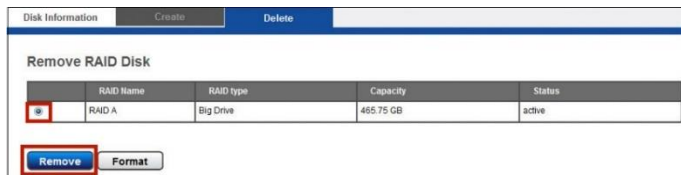
Disk Information															
Create	Delete														
Device List - RAID List - RAID A [Big Drive, 465.75 GB] - HDD1	Device Information <table> <tr><td>RAID Name</td><td>RAID A</td></tr> <tr><td>Level</td><td>linear</td></tr> <tr><td>Capacity</td><td>465.75 GB</td></tr> <tr><td>Status</td><td>active</td></tr> <tr><td>Action State</td><td>clean</td></tr> <tr><td>Background Activity</td><td>none</td></tr> <tr><td>Progress</td><td>create swap</td></tr> </table>	RAID Name	RAID A	Level	linear	Capacity	465.75 GB	Status	active	Action State	clean	Background Activity	none	Progress	create swap
RAID Name	RAID A														
Level	linear														
Capacity	465.75 GB														
Status	active														
Action State	clean														
Background Activity	none														
Progress	create swap														
Back Next															

RAID が完成すると、RAID リストに RAID 名と使用しているディスクの情報が表示されます。こゝで表示される情報は次の通り：RAID 名、レベル、容量、状態、動作状態、バックグラウンド・アクティビティ、進行状況（なし）。

3. ディスク・ボリュームの削除

RAID が作成されると、「削除」タブが有効になります。

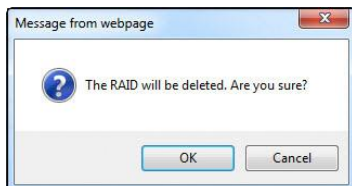
ディスク・ボリュームを削除する時は以下の手順に従ってください。



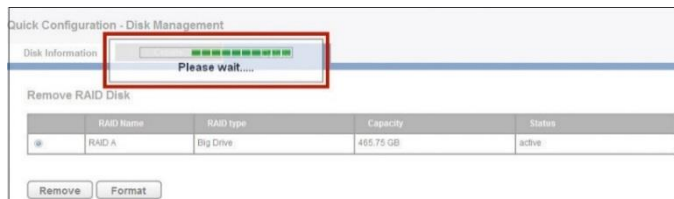
削除タブを開き、削除またはフォーマットしたいRAIDを選択します。
表の中には RAID の名称、RAID のタイプ、容量と状態が表示されています。

●削除

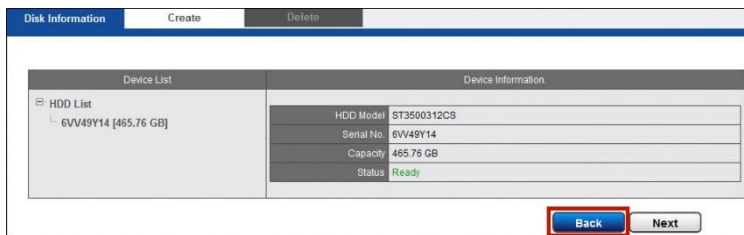
「削除」をクリックします。確認のウィンドウが表示されます。



「OK」をクリックすると RAID が削除されます。



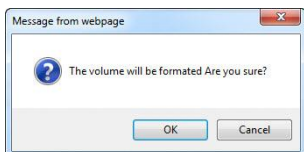
削除が完了するまでお待ちください。



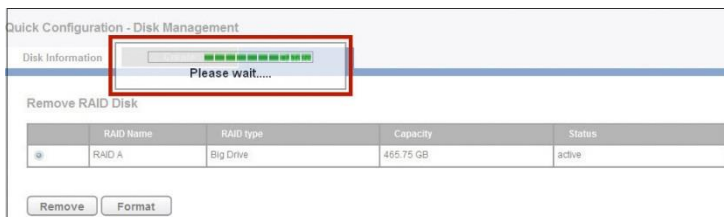
RAID レベルを変更したい時も「削除」をクリックしてください。
RAID が削除されると機器情報の状態が「Ready」になり、「作成」タブを開いてディスク・ボリュームを新規作成できるようになります。
注意：RAID を削除すると、それまで保存していた録画映像も削除されます。

●フォーマット

「フォーマット」をクリックすると、全ての録画映像が削除されます。
確認のためにウィンドウが表示されます。



「OK」をクリックすると RAID がフォーマットされます。



フォーマットが完了するまでお待ちください。

2.3.6 カメラ設定

UPnP 検索または検出のどちらかの方法でカメラを NVR に登録できます。

Camera Settings

Camera Settings

Camera No.	Camera 6		
Camera Name			
IP Address		Port	80
Username		Password	
Vendor	Auto	Model	
Recording Enabled	☒ Enable recording on this camera		

UPnP Search Apply

1. 検出

ユーザーは手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録します。

Camera Settings

Camera No.	12		
Camera Name	Camera 12		
1 IP Address	192.168.1	Port	80
2 Username	admin	Password	*****
3 Vendor	Auto	Model	
Recording Enabled	☒ Enable recording on this camera		

UPnP Search Apply 3

Camera Settings

Camera Settings

Please wait....

Camera No.	Camera 6		
Camera Name	Cam		
IP Address	192.168.1.133	Port	80
Username	admin	Password	*****
Vendor	Brickcom Corporation	Model	CB-101Ap
Recording Enabled	☒ Enable recording on this camera		

Apply Reset

カメラ名、ユーザー名、パス

ワードは自由に入力できます。

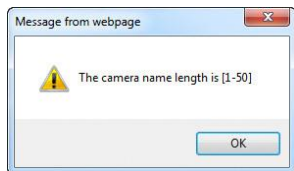
一部のカメラは自動的にユーザー名、パスワードに初期値が入力されます。

変更後のユーザー名とパスワードの記録：

ユーザー名とパスワードが自動入力されたメーカーのユーザー名とパスワードを変更して「適用」をクリックすると、NVR は、そのメーカーの初期ユーザー名とパスワードを変更後の情報に書き換えます。以後、同じメーカーのカメラを追加した時は、自動で変更後のユーザー名とパスワードが入力されます。

注意：ユーザー名とパスワードの初期値はメーカーによって異なります。

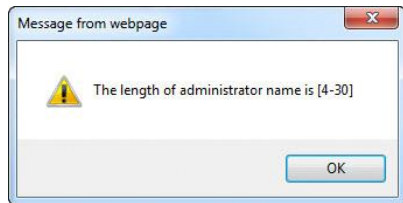
入力した情報に不備がある時は、警告ウィンドウが表示されます。



IP アドレスが不適切な時は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



ユーザー名に誤りがある時は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



パスワードに誤りがある時は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、機種名が表示されます。

Camera List						
No.	Camera Name	IP Address	Port	Vendor	Model	Delete
1	174	192.168.1.174	80	Brickcom Corporation	FB-100Ap	Delete
2			80			
3			80			
4			80			
5			80			
6			80			
7			80			
8			80			
9			80			
10			80			
11			80			
12			80			
13			80			
14			80			
15			80			
16			80			
						Back Next

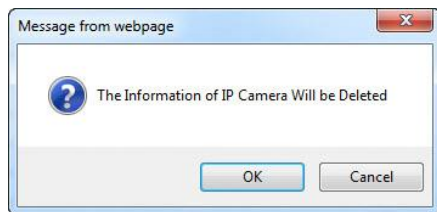
カメラの登録が完了したら、「次へ」をクリックしてください。

● 削除

登録しているカメラを削除する時は、リストで選択して「削除」をクリックします。

No.	Camera Name	IP Address	Port	Vendor	Model	Delete
1	174	192.168.1.174	80	Brickcom Corporation	FB-100Ap	Delete
2			80			
3			80			

確認のためのウィンドウが表示されます。



削除する時は「OK」をクリックしてください。

削除が完了するまでお待ちください。

No.	Camera Name	IP Address	Port	Vendor	Model	Delete
1	174	Please wait...		Brickcom Corporation	FB-100Ap	Delete
2			80			
3			80			

リストからカメラが削除されました。

No.	Camera Name	IP Address	Port	Vendor	Model	Delete
1			80			
2			80			
3			80			

● Generic RTSP/ Generic MJPEG

DIGISTOR は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ MJPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示、録画に用いられます。

Camera Settings

Camera No. Camera 2

Camera Name brick-6

IP Address 192.168.1.6 Port 80

Username admin Password *****

Vendor Brickcom Model Brickcom-500A

Generic URL rtsp://192.168.1.6:554 RTSP port 554

Recording Enabled ☒ Enable recording on this camera

UPnP Search Apply

Camera List

No.	Camera Name	IP	Vendor	Model	Delete
1	brick-107	19	Panasonic	Brickcom-500A	Delete
2	brick-6	19	SecuRex	Brickcom-500A	Delete
3	brick-154	19	Sony	Brickcom-500A	Delete
			SANYO	Brickcom-500A	Delete
			VIVOTEK	Brickcom-500A	Delete
			Generic RTSP	Brickcom-500A	Delete
			Generic MJPEG	Brickcom-500A	Delete

Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。

Camera Settings

Camera No. Camera 17

Camera Name

IP Address Port 80

Username Password

Vendor Generic RTSP Model Brickcom-500A

Generic URL rtsp://192.168.1.6:554 RTSP port 554

Recording Enabled ☒ Enable recording on this camera

UPnP Search Apply

Tip: If the path is rtsp://192.168.1.6/channel1. The Generic URL should be filled out as channel1.

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

URL はメーカーにお問い合わせください。また、以下のサイトが参考になります。

- <https://www.soleratec.com/rtsp/>
- <http://www.ispyconnect.com/sources.aspx>

2.UPnP 検索

「UPnP 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP 機能を持つカメラだけです。一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。



検索中の画面です。しばらくお待ちください。

Camera Settings						
No.	IP Address	Port	Vendor	Model	MAC	
1	192.168.1.41	80	ACTI Corporation	TCM4301-09C-X-00455	00-45-09-00-00-00	Add
2	192.168.1.122	80	AXIS	211W	00-40-8C-82-E9-19	Add
3	192.168.1.123	80	AXIS	M1011-W	00-40-8C-A3-9F-23	Add
4	192.168.1.124	80	AXIS	M1031-W	00-40-8C-99-94-7D	Add
5	192.168.1.128	80	AXIS	209PD	00-40-8C-A3-94-B4	Add
6	192.168.1.151	80	Brickcom Corporation	FD-100Ap	00-25-82-1A-00-08	Add
7	192.168.1.152	80	Brickcom Corporation	FD-100Ap	00-25-82-1A-00-14	Add

登録可能なカメラが一覧表示されます。リストから「追加」をクリックして必要なカメラを追加してください。

Camera Settings

Camera No.	Camera 12		
Camera Name	Camera 12		
IP Address	192.168.1.156	Port	80
Username	admin	Password	*****
Vendor	VIVOTEK INC.		
Model	FI-254 Mega-Pixel Network Camera		
Recording Enabled	☒ Enable recording on this camera		

[Apply](#) [Reset](#)

登録したカメラはカメラ名、IP アドレス、ユーザー名、パスワード、ポート、メーカー名、機種名が表示されます。「適用」をクリックしてカメラを登録します。

注意：カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー名とパスワードは初期値が表示されますが、変更すると NVR 側はそれを初期値として登録します（54 頁参照）。

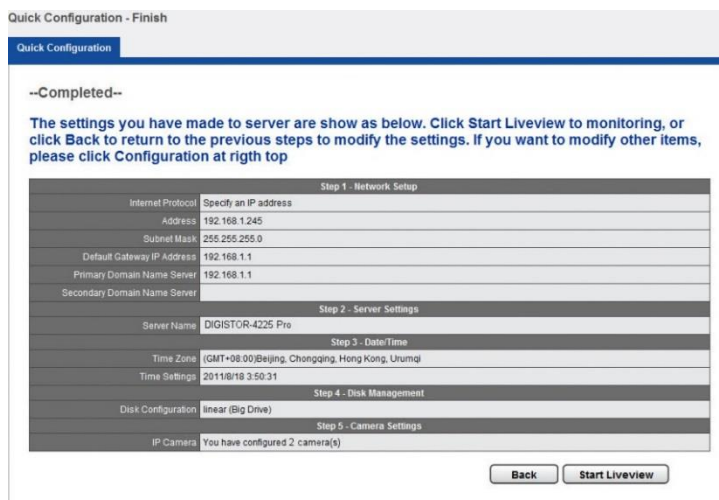
登録が終わったら「次へ」をクリックします。

2.3.7 完了

設定ユーティリティのメニューから「完了」を選びます。



五つの手順が完了したら、その状態を示すウィンドウが表示されます。「前へ」をクリックすると、設定の修正が可能です。「ライブ表示」をクリックするとライブ表示ページへ移動します。



設定ペイン・ページの「クイック設定」を選択すれば、いつでもクイック設定の情報確認できます。

3.0 ローカル・ディスプレイでの操作

HDMI または VGA でモニターを NVR に接続して、クイック設定やライブ表示を行うことができます。

注意：この機能をサポートしているのは DS-1100 Pro、DS-2100 Pro、DS-4200 Pro シリーズと、DS-4200-RM Pro、DS-8200-RM Pro シリーズだけです。

ローカル・ディスプレイを接続する前に、以下の準備を行ってください。

- 1.1 台以上の HDD を NVR に取り付けてください。
2. NVR とカメラをネットワークに接続してください。
3. NVR 背面のポート（HDMI / VGA / DVI-I）とモニターを正しく接続してください。
4. NVR の USB ポートにマウスを接続してください。
5. NVR に電源コードをつなぎ、電源をオンにしてください。
6. NVR にログインする際、ユーザー名とパスワードを入力し（初期値はどちらも「admin」）、表示言語を選択してください。

3.1 NVR へのログイン

ユーザー名とパスワードを正しく入力してください。



The image shows a login window with a blue header and a white background. It contains the following elements: a 'User Name' field with 'admin' entered; a 'Password' field with masked characters '.....'; two checkboxes, 'Anonymous' (unchecked) and 'Remember Username and Password' (checked); a language dropdown menu set to 'English'; a resolution dropdown menu set to '1024x768'; and two buttons, 'Log In' and 'Cancel'.

解像度：

解像度 1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます（モニターが対応している場合）。

3.1.1 匿名ログイン

匿名ログインを行えば、ユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。



User Name

Password

☒ Anonymous
☐ Remember Username and Password

English

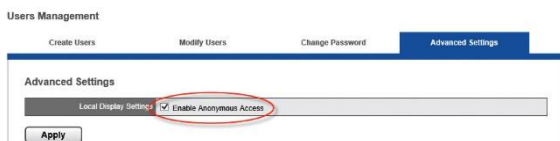
1024x768

匿名ログインした時はライブ表示と録画再生は行えますが設定ページへは移動できません。匿名ログインが行われたことはログに記録されます。

匿名ログインを有効にする

A.PC で NVR にログインして、「設定 > 管理 > ユーザー管理 > 詳細設定」へ移動します。

B.「匿名ログインを有効にする」にチェックを入れます。



Users Management

Create Users Modify Users Change Password **Advanced Settings**

Advanced Settings

Local Display Settings ☒ Enable Anonymous Access

C. ローカル・ディスプレイのログイン画面で匿名ログインが可能になります。



User Name

Password

☒ Anonymous Access
☐ Remember Username and Password

English

1024x768

3.1.2 バーチャル・キーボード

文字入力の必要がある時、USB キーボードを NVR の USB に接続するか、バーチャル・キーボードを使ってください。バーチャル・キーボードは、各コラムの右側にアイコンが用意されています。



バーチャル・キーボードには小文字、大文字、記号の 3 モードがあります。



3.2 クイック設定

NVR ログイン後、NVR が未設定の場合はクイック設定ページへジャンプします。次の五つのステップで設定が完了します。

3.2.1 開始

最初にどのような手順で設定が行われるのか確認してください。「開始」をクリックすると、クイック設定が始まります。

The screenshot shows the 'Quick Configuration - Start' window. On the left is a sidebar with 'Quick Configuration' expanded, showing options: Start, Network Settings, Server Settings, Date & Time, Disk Management, Camera Settings, and Finish. The main area is titled 'Quick Configuration' and contains an 'Overview of wizard' section. It welcomes the user and lists five steps: 1. Network Settings (IP, subnet mask, gateway, DNS), 2. Server Settings (name, password), 3. Date/Time (date, time, zone), 4. Disk Management (initialize disk), and 5. Camera settings (add IP cameras). At the bottom right are 'Back Configuration' and 'Start' buttons.

3.2.2 ネットワーク設定

The screenshot shows the 'Quick Configuration - Network Setup' window. The sidebar is the same as in the previous screen, but 'Network Setup' is now selected. The main area is titled 'Network Setup' and shows a table for network configuration. The 'Internet Protocol' section has two radio buttons: 'Obtain an IP address automatically' (unselected) and 'Specify an IP address' (selected). Below this are input fields for IP Address (192.168.1.245), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway IP Address (192.168.1.1), Primary Domain Name Server (192.168.1.1), and Secondary Domain Name Server (empty). A tip at the bottom states: 'Tip: To allow this server to use for NTP or SMTP servers, you must provide the IP address of the primary DNS server and Default Gateway. The settings will be effective when you confirm on button Next.' At the bottom right are 'Back' and 'Next' buttons.

Network Setup	
Internet Protocol	☐ Obtain an IP address automatically ☒ Specify an IP address
IP Address	192.168.1.245
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway IP Address	192.168.1.1
Primary Domain Name Server	192.168.1.1
Secondary Domain Name Server	

- IP アドレスの自動割り当て

DHCP サーバーから動的な IP アドレスが付与されます。

- 固定 IP アドレス

固定的な IP アドレスを設定できます。

「次へ」をクリックして設定を続けます。

3.2.3 サーバー設定

Configuration Utility

Quick Configuration - Server Settings

Server Name

Server name with UPnP

Status ☐

Server Name DIGISTOR-420 Pro (Maximum 32 characters)

Tip: To create a unique name for this server, the settings will be effective when you confirm on button Next.

Password Settings

User Name admin ☒ (Use the original password)

New Password (Maximum 32 characters)

Repeat Password

Tip: If you select like the original password, the administrator password will not be changed. Otherwise, the settings will be effective when you confirm on button Next.

Back Next

- UPnP サーバー名

UPnP で使用する NVR の名称です。

- パスワード設定

NVR のアカウント名、パスワードとも「admin」が初期値です。不正なアクセスを防止するため、パスワードを変更してください。

3.2.4 日付と時間

1. マニュアル設定

ドロップダウン・リストを使って手動で設定してください。

Configuration Utility

Quick Configuration - Date/Time

Manual Time Zone

Date and Time Setting by Manual

Year 2012

Month 3

Day 8

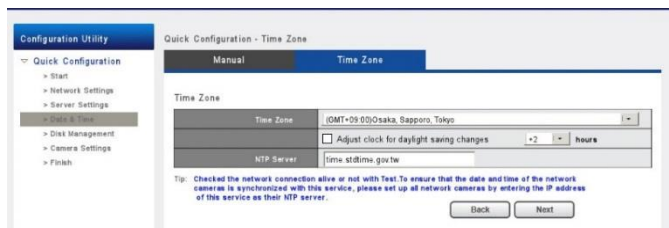
Time 22 3 0

Back Next

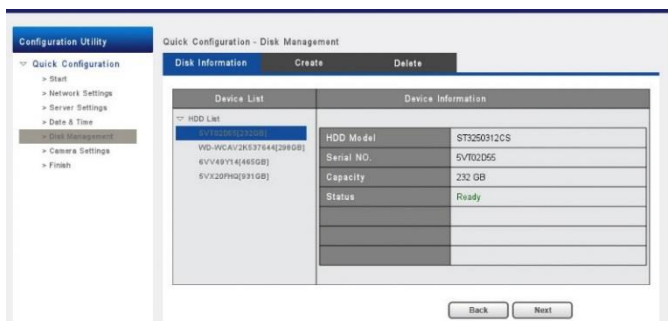
2. タイム・ゾーン：タイム・サーバーとの同期

NVR をお使いになるエリアを選択肢、タイム・サーバーと同期を行います。夏時間の設定も可能です。

注意：タイム・サーバーと同期を取るためには NVR がインターネット上のタイム・サーバーに接続できる環境になければなりません。



3.2.5 ディスク管理



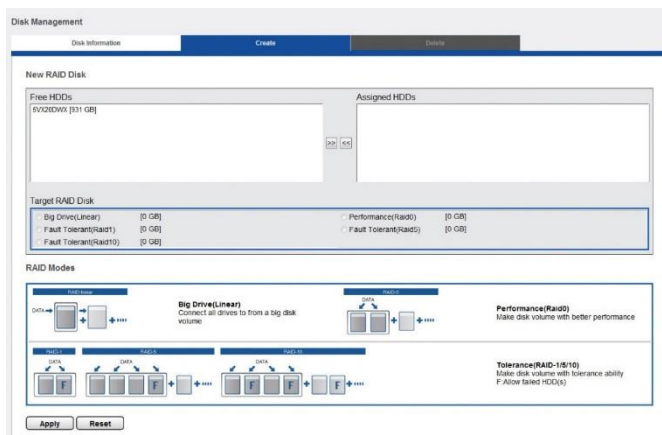
1. ディスク情報

ハードディスク・ドライブの情報が表示されます：HDD 機種名、シリアル番号、容量、状態。

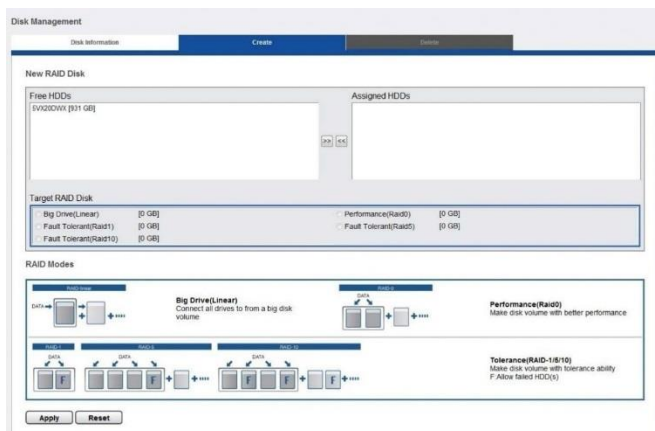
2. 作成

HDD が使用可能な時は「状態」に「準備完了」と表示され、ディスク・ボリュームが作成できるようになります。

「作成」タブをクリックして、HDD を選んで RAID を作成します。

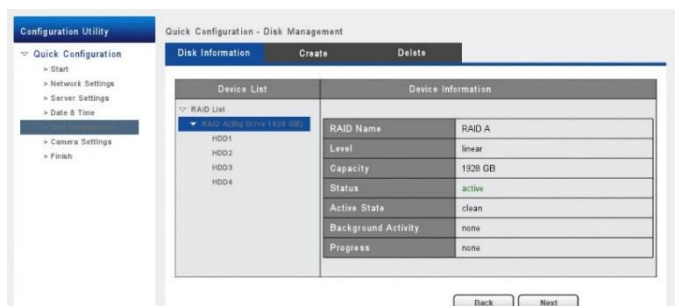


選択した HDD にディスク・ボリュームを割り当てるため、「>>」をクリックして右側の欄へ移します。



割り当て HDD 欄の選択された HDD は青色で表示されます。ディスク・ボリュームのタイプを選択して「適用」をクリックすると、RAID の作成が始まります。

RAID が完成すると、RAID リストに RAID 名と使用しているディスクの情報が表示されます。



3. ディスク・ボリュームの削除

RAID が作成されると、「削除」タブが有効になります。



● 削除

RAID レベルを変更したい時は「削除」をクリックしてください。RAID が削除されると機器情報の状態が「準備完了」になり。「作成」タブを開いてディスク・ボリュームを新規作成できるようになります。

● フォーマット

「フォーマット」をクリックすると、全ての記録映像が削除されます。RAID レベルはそのまま保持されます。

3.2.6 カメラ設定

2.3.6 カメラ設定を参照してください。

3.2.7 完了

五つの手順が完了したら、その状態を示すウィンドウが表示されます。

Configuration Utility

- Quick Configuration
 - Start
 - Network Settings
 - Server Settings
 - Date & Time
 - Disk Management
 - Camera Settings

Quick Configuration - Finish

Quick Configuration

--Completed--

The settings you have made to server are show as below. Click Start Liveview to monitoring, or click Back to return to the previous steps to modify the settings. If you want to modify other items, please click Configuration at right top

Step 1 - Network Setup	
Internet Protocol	Specify an IP address
Address	192.168.1.245
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway IP Address	192.168.1.1
Primary Domain Name Server	192.168.1.1
Secondary Domain Name Server	
Step 2 - Server Settings	
Server Name	DIGISTOR-4225 Pro
Step 3 - Date/Time	
Time Zone	(GMT+04:00) Yerevan
Time Settings	2012/9/8 22:38:7
Step 4 - Disk Management	
Disk Configuration	linear
Step 5 - Camera Settings	
IP Camera	You have configured 2 camera(s)

Back Start Liveview

3.3 ライブ表示

クイック設定が完了したら、IP カメラの映像が見られるようになります。ライブ表示ページでは、登録したカメラのライブ映像の表示と PTZ 制御が可能です。

3.3.1 ライブ表示モードの選択



右
上
四
の
タ
ン
ボ
ン
で
表
示
モ
ー
ド

を切り替えます。

モード	内 容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなど設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

3.3.2 ライブ表示の主な機能



1. カメラの状態

アイコン	内 容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	映像圧縮形式： M-JPEG / MPEG-4 / H.264 のいずれかです。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	青色の枠： ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2. NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。

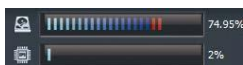


2) ディスク・CPU 使用量

設定ページへ移動しなくても、ディスクと CPU の使用量を確認できます。



使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更や、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

3. 基本機能

アイコン	内 容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。「Public > liveview_snapshot」に保存されます。Windows ネットワークまたは FTP でアクセスできます。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。

	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内 容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示
	25 分割表示

	5+1 分割表示
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。以下は制御アイコンですが、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

アイコン	内 容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 「Go」をクリックすると巡回が始まります。

6. イベント・ログ

モーション検知機能を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップします。



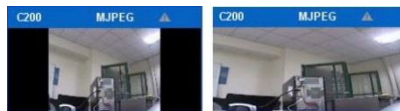
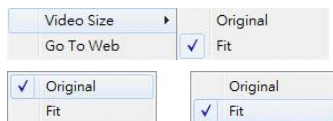
7. オプション

警告設定やウィンドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。

1) 一般設定

- 全ての映像サイズを同時に変更

映像ウィンドウ上で右クリックするだけで、全ての映像を「オリジナルのサイズ」または「ウィンドウのサイズ」に切り替えられます。



- イベント検知時に映像ウィンドウを強調

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。



当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示は終了します。



2) シーケンシャル・モード設定

ページの切換間隔（秒単位）を設定します。

8. ストリーミング・タイプの切り換え

DIGISTOR はマルチ・ストリームに対応するカメラから、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウィンドウ表示用）に使用します。

表示している映像ストリームを切り換える時は、映像ウィンドウ上で右クリックしてストリームをリストから選択してください。

「最適化」が有効になっている時は、選択中のレイアウトに合わせて最適のストリームが表示されます。

「最適化」が無効の時は、手動でストリームを選択できます。一度選択したストリームは、レイアウトごとシステムに記憶されます。

3.4 録画再生

録画再生ページから、NVR に記録した録画映像を再生できます。4 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

3.4.1 録画再生の手順

録画再生は次の手順で行います。



1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

録画映像のタイプの違い：

通常録画：連続録画やスケジュール録画など、いわゆる「ベタ録り」された映像です。

イベント録画：モーション検知など、イベントによって実行された録画映像です。

ビデオ・クリップ：イベント録画によってメール送信されたビデオ・クリップです。

修復されたファイル：録画ファイルは 5 分単位で作成されますが、途中で録画設定を変更したり電源をオフにしたりした場合など、5 分未

満のファイルが作成されます。5 分に満たない不完全なデータが「修復されたファイル」になります。

重複する時間帯：時刻同期の結果、同じ時刻データを有することになった録画ファイルを指します。

1. カメラの選択



4 台以下のカメラを選択して再生できます。

2. 日付と時刻の選択



再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3. 録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記四つの手順に従います。

2. 「一時停止」ボタンをクリックします。

3. 「1 コマ戻す (前のイメージ)」または「1 コマ進める (次のイメージ)」ボタンをクリックします。

フレーム単位の再生 (コマ送り再生)

1. 上記四つの手順に従います。
2. 「一時停止」ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す (前のイメージ)」または「1 コマ進める (次のイメージ)」ボタンをクリックします。



3.4.2 録画再生の主な機能



1.表示モード

各カメラの録画映像の時間は、各グリッドの上段に表示されています。

全画面にする時は、右側のボタンをクリックしてください。1 画面の時は左側、4 分割で再生する時は中央のボタンをクリックしてください。

2.デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を拡大する時に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使ってください。

3.録画再生時のスピード制御



①一時停止：録画

再生を一時的に停止します。

②前のイメージ：1コマ前に戻ります。

③スロー再生：再生速度を落とします。

④再生：録画映像を再生します。

⑤高速再生：再生速度を上げます。

⑥次のイメージ：1コマ先に進めます。

⑦逆再生：録画映像を逆再生します。

再生速度はスクロール・バーの左に表示されています。



4.スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大 / 縮小できます。



5. スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。



3.4.3 オーディオ再生



選択中のカメラの記録オーディオを再生できます。

アイコン	内 容
	消音： 再生中の録画映像のオーディオを消します。
	音量ダウン： 再生中の記録映像のオーディオ・ボリュームを下げます。
	音量アップ： 再生中の記録映像のオーディオ・ボリュームを上げます。

3.4.4 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画映像をUSB 機器に保存したり、USB 接続された DVD ドライブのメディアに直接書き出したりすることができます。



カメラ、録画映像のタイプ、日付と時間を選んでからエクスポート・ボタンをクリックしてください。

DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

- DIGIPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- DIGICheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。

実際にファイルをエクスポートする前に、記録映像の開始 / 終了時刻とファイル容量を確認できます。

エクスポートに成功したら、その旨を知らせるウィンドウが表示されます。

3.4.5 スナップショット

ローカル・ディスプレイでの再生中にもスナップショットを撮影できます。USBの保存メディアをNVRのUSBポートに接続してください。スナップショット・ボタンをクリックすると静止画像が保存されます。



3.5 その他

3.5.1 ローカル・ディスプレイのスクリーンショット

「PrtSc SysRq」を押すとローカル・ディスプレイの全画面が NVR の共有フォルダ「Public」内に保存されます。PC を使って Windows ネットワーク、または FTP でファイルのアクセスできます。

注意：Windows ネットワーク、FTP サービスを使用する時は、設定ページの「ファイル共有」設定から、必要なサービスを有効にしてください。詳細は 5.3.3。

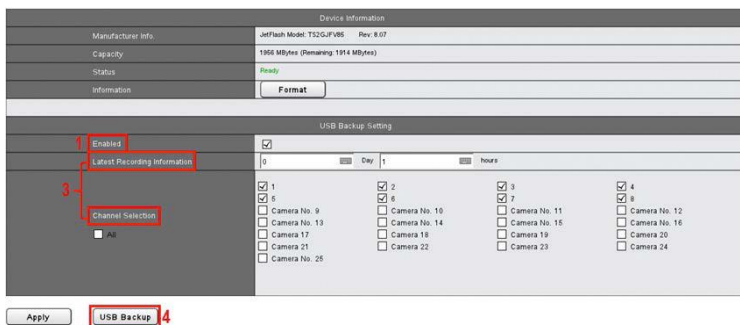
3.5.2 システムのアップグレード

ローカル・ディスプレイの操作でシステムをアップデートできます。詳細は 5.7.2 を参照してください。

注意：この操作はローカル・ディスプレイに対応した機種のみ可能です。

3.5.3 USB バックアップ

NVR 本体正面の USB ポートに USB ストレージまたは DVD ドライブを接続し、ボタンを押すことで自動的にバックアップを作成できます。
注意：ボタンを押すと直ちにバックアップが開始されます。



-
- 1) 設定ページ > 管理 > USB バックアップで機能の有効 / 無効を切り換えます。
 - 2) USB ストレージまたは DVD ドライブをバックアップ用 USB ポートに接続します。機器が有効な時は「状態」が「準備完了」になります。
 - 3) 保存期間とチャンネルを選択します（保存期間は今から「# 日 # 時間」前まで）。
 - 4) 「USB バックアップ」ボタンをクリックします。

4.0 PCでの操作

web ブラウザ（Internet Explorer / Chrome / Firefox / Opera）を使って NVR にアクセスして、ライブ映像の表示や録画再生を行えます。

4.1 ライブ表示

4.1.1 ライブ表示モードの選択



右上四つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内 容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなど設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

4.1.2 ライブ表示の主な機能



1. カメラの状態

アイコン	内容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	映像圧縮形式： M-JPEG / MPEG-4 / H.264 のいずれかです。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	青色の枠： ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。



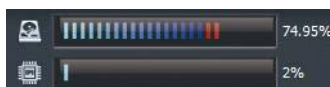
2) ディスク・CPU 使用量

設定ページへ移動しなくても、ディスクと CPU の使用量を確認できます。

使
用



量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

3.基本機能

アイコン	内 容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。ボタンをクリックするとウィンドウがポップアップします。 1) クリップボード 画像をクリップボードにコピーします。コピーしたデータはペイント・ツールなどにペーストできます。 2) 保存 画像を設定したフォルダに保存します。 3) キャンセル スナップショットした画像を破棄します。 

	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。
	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。
	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4. リモート IO



をクリックしてカメラの DI / DO（接点入出力）の状態を確認します。



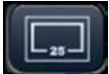
カメラが DI / DO 機能を有していない時は次のウィンドウが表示されます。



5.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。
選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内 容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示

	25 / 30 / 36 / 49 分割表示
	5+1 分割表示
	7+1 分割画面
	12+1 分割画面
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時は ドロップダウン・メニューから選択してください。ペー ジ切り換え間隔は「オプション > 一般設定」で変更で きます。

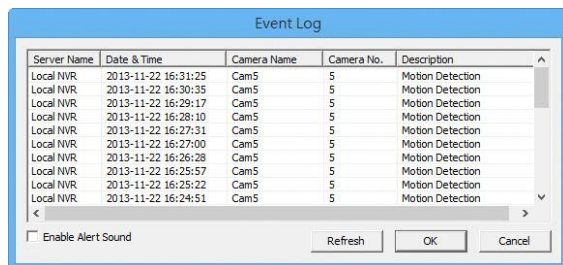
6.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。
以下は制御アイコンですが、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

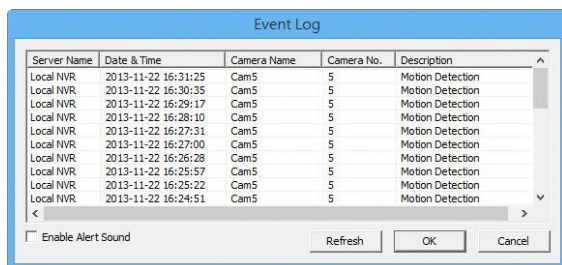
アイコン	内 容
	PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。 クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ（巡回モード）： 「Go」をクリックすると巡回が始まります。

7. イベント・ログ

モーション検知機能を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップします。



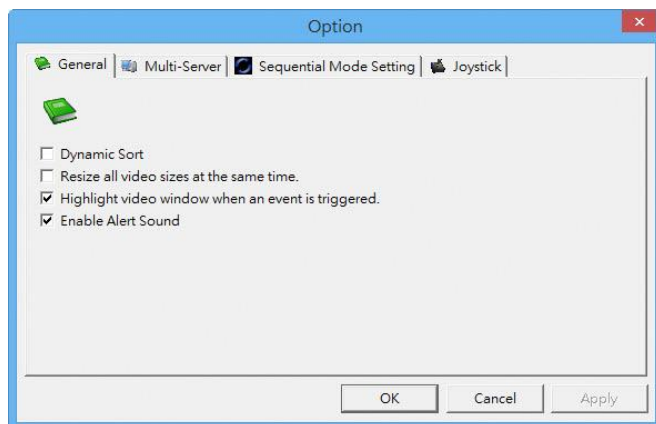
警告音



警告音を有効にしていたら、イベントを検知すると警告音が鳴ります（オプション > 一般設定からも警告音の有効 / 無効を切り換えられます）。

8. オプション

1) 一般設定

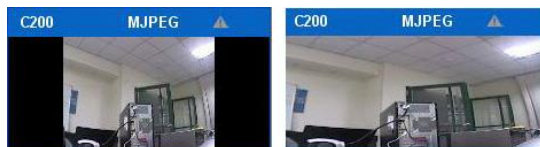
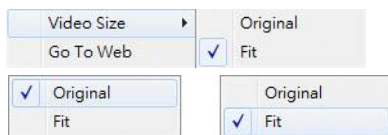


●自動ソート

この機能を有効にすると、表示を停止したカメラのウィンドウが自動的に省略して（＝間を詰めて）表示されます。

●全ての映像サイズを同時に変更

映像ウィンドウ上で右クリックするだけで、全ての映像を「オリジナルのサイズ」または「ウィンドウのサイズ」に切り替えられます。



●イベント検知時に映像ウィンドウを強調

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。



当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示は終了します。

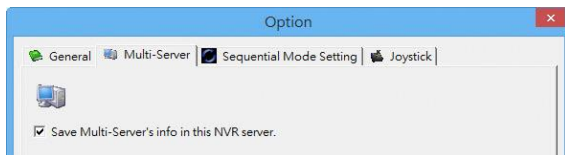


●警告音

この機能を有効にすると、カメラがイベントを検知すると警告音が鳴ります。

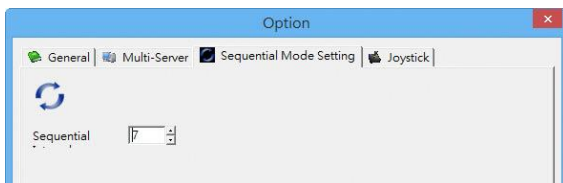
2) マルチ・サーバー設定

マルチ・サーバー情報を保存します。



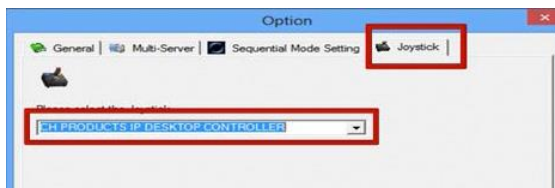
3) シーケンシャル・モード設定

ページの切替間隔（秒単位）を設定します。



4) ジョイスティック設定

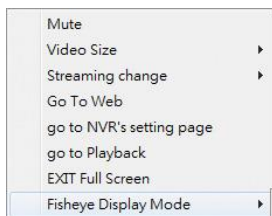
PC に USB 接続されたジョイスティックで PTZ カメラを制御できます。ジョイスティックの機種を選択して「適用」をクリックしてください。



ステータス・バーに PTZ アイコンを持つカメラを操作できます。



4.1.3 映像ウィンドウ上の右クリック



1.消音：カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。

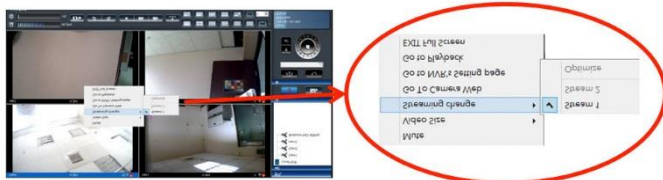
2.映像サイズ：アスペクト比を保つ、またはウィンドウ・サイズに合わせます。

3.ストリーミングの変更：表示しているストリーミングの切り換えを行います。

1) ストリーミング・タイプの切り換え

DIGISTOR はマルチ・ストリームに対応するカメラから、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウィンドウ表示用）に使用します。

表示している映像ストリームを切り換える時は、映像ウィンドウ上で右クリックしてストリームをリストから選択してください。



「最適化」が有効になっている時は、選択中のレイアウトに合わせて最適のストリームが表示されます。

「最適化」が無効の時は、手動でストリームを選択できます。一度選択したストリームは、レイアウトごとシステムに記憶されます。

2) サーバーからのストリーム

カメラの機種によっては、ストリーム 1 の設定ではストリームを複数配信できないことがあります（NVR が録画するためのものと、大

サイズのウィンドウに表示するためのもの)。その場合、「サーバーからのストリーム 1 配信を有効にする」が選択可能になります。ただしこの機能は NVR のパフォーマンスに影響するため、「最適化」を有効にすることを推奨します。



4.カメラ側設定：カメラの設定ページへ移動します。

5.NVR 側設定：ブラウザの新規ページを開いてカメラ設定ページを表示します。

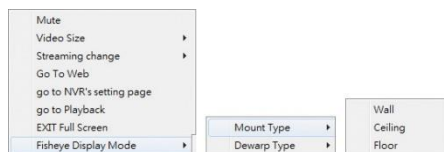
6.録画再生：ブラウザの新規ページを開いて録画再生ページを表示します。

7.全画面表示終了：全画面表示を終了します。

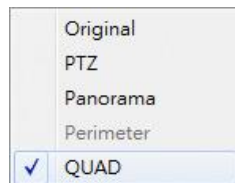
8.魚眼補整モード：全方位カメラ、または ImmerVision レンズを取り付けたカメラの映像を補整する時に使います。

(1) 全方位カメラの補整

a.マウント・タイプを選択します。

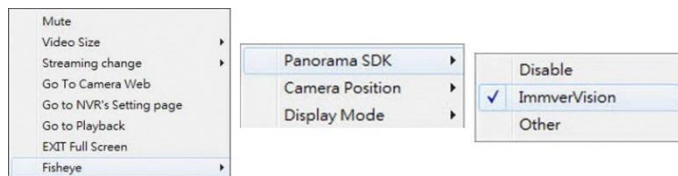


b.補整タイプを選択します。



(2) ImmerVision カメラの補整

a.マウント・タイプを選択します。



b.表示タイプを選択します。

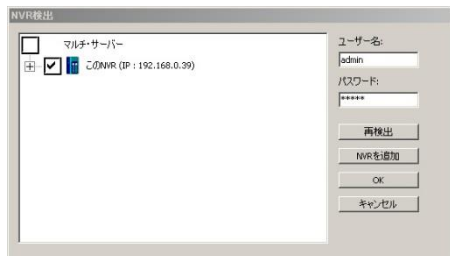


4.1.4 マルチ・サーバー

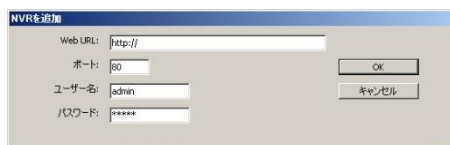
他の NVR を今アクセスしている NVR に登録して、まとめて管理できます。カメラ・リストの上にあるアイコンをクリックしてください。



NVR がリストに表示されたら、追加したい NVR にチェックを入れ、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。



自動ではなく手動で追加する時は、「NVR を追加」をクリックしてください。下のウィンドウが表示されたら、NVR のアドレス、ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリックします。同一 LAN 上以外の NVR もこの方法で追加することができます。



4.2 録画再生

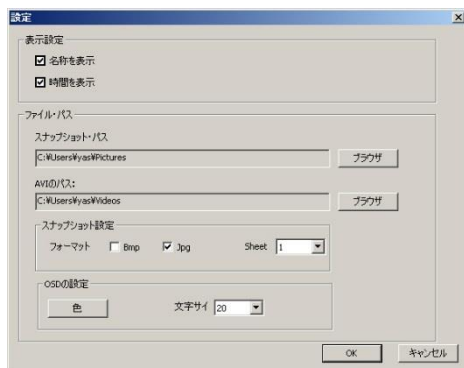
録画再生ページから、NVR に記録した録画映像を再生できます。4 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

4.2.1 録画再生の準備

録画再生の前に「設定」ボタンをクリックして設定を行えます。



- 設定:スナップショット撮影した静止画像の保存先や OSD を設定できます。

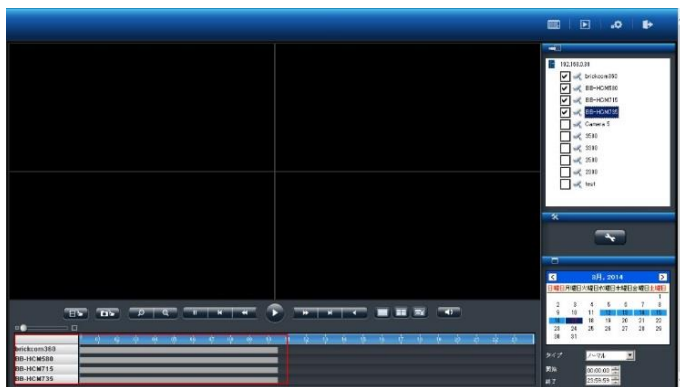


録画再生は次の手順で実行します。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択

4 台以下のカメラを選択して再生できます。



再生したいカメラにチェックを入れると、タイム・テーブルにそのカメラの名称と録画している時間帯を示すグラフが表示されます。

2. 日付と時刻の選択

再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。



3. 録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、夏時間（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。



4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記四つの手順に従います。
2. 「一時停止」ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



●スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大 / 縮小できます。



●スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。



●サムネイル機能

グラフにマウス・オーバーすることでその時間の静止画像が表示されます。

注意：この機能は一時停止中のみ有効です。



4.4.2 録画再生の主な機能



1. 表示モード

各カメラの録画映像の時間は、各グリッドの上段に表示されています。

全画面にする時は、右側のボタンをクリックしてください。1画面の時は左側、4分割で再生する時は中央のボタンをクリックしてください。

2. デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を拡大する時に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使ってください。

3. 録画再生時のスピード制御



①一時停止：録画

再生を一時的に停止します。

②前のイメージ：1コマ前に戻ります。

③スロー再生：再生速度を落とします。

- ④**再生**：録画映像を再生します。
- ⑤**高速再生**：再生速度を上げます。
- ⑥**次のイメージ**：1コマ先に進めます。
- ⑦**逆再生**：録画映像を逆再生します。
- 再生速度はスクロール・バーの右上に表示されています。



4. 消音

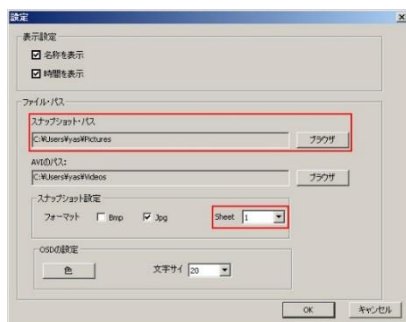
「消音」ボタンをクリックすると、映像だけを録画再生します。ボタンを押すことでオーディオ再生のオン／オフを切り換えられます。

5. スナップショット

「スナップショット」ボタンをクリックすると、選択しているカメラの静止画像を保存します。保存先は「設定」で確認・変更できます。

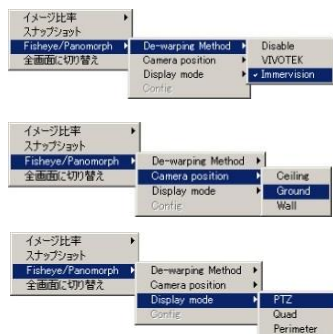
●録画再生時の連続スナップショット

初期値は「1」です。ドロップ・ダウン・メニューで変更でき、最大5枚の連続静止画像をワン・クリックで撮影できます。



6. 全方位カメラの映像補整

全方位カメラのドライブ・タイプとカメラの設置位置、表示モードを選択します。



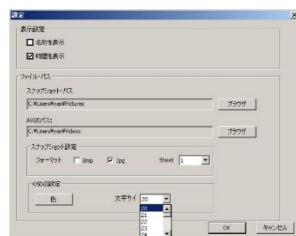
7. OSD の色とサイズの変更

録画映像で表示される OSD (On Screen Display) の設定を変更できます。

1) 「設定」をクリックします。



2) 「色」をクリックするとパレットが表示されます。表示したい文字の色を選択してください。



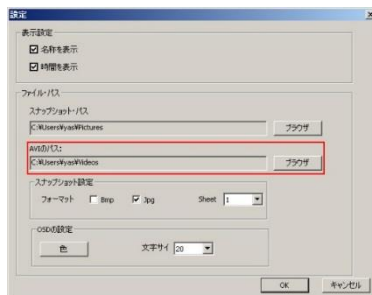
3) 文字のサイズをドロップダウン・メニューから選択してください。

4.2.3 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画映像を NVR から取り出せます。
エクスポートの前に保存先を確認してください。

1) 映像のエクスポート先の決定

「設定」ボタンをクリックして設定ウィンドウを表示してください。「映像のエクスポート先」に示されるフォルダに保存されます。



2) 録画ファイルの条件指定

カメラ、録画映像のタイプ、日付と時間を選んでからエクスポート・ボタンをクリックしてください。

3) エクスポートのオプション

DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

●DIGIPlayer は NVR に保存された録画映像を再生するプレイヤーです。

●DIGICheck は、録画映像ファイルが DIGISTOR で作成されたものかどうかを確認するためのツールです。

4) エクスポートのキャンセル

データ転送中に「キャンセル」をクリックすることで中止できます。



4.3 映像ファイルの再生

Windows ネットワーク、または FTP サービスを使って映像ファイルにアクセスできます。

注意：使用するサービスは、「ネットワーク共有サービス」ページで有効にしてください。

ファイル共有ページの「リンク」ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。

情報		Windowsネットワーク	FTPサービス
サービスリスト	状態	動作	リンク
Windowsネットワーク	ON	無効	リンク
FTPサービス	ON	無効	リンク

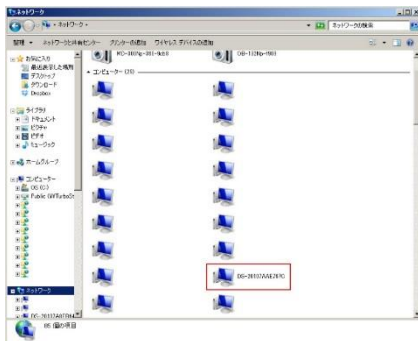
4.3.1 Windows ネットワーク

「スタート」ボタンで NVR のアドレスを入力しても、Windows ネットワークでダイアログを開くことができます。

●NVR の選択

「ネットワーク」フォルダーの「コンピューター」の中から NVR を選択します。

注意：NVR の名称は「サーバー設定」のサーバー名または「機器情報」の MAC アドレスで調べられます。



「システム > 機器情報」から NVR の MAC アドレスを確認できます。
コンピュータ名は MAC アドレスに基づいたものになります。

システム情報		エンコーダー情報
情報		
型番	NVR-4216 Pro	
ファームウェアバージョン	2.1.151-rc4	
MAC アドレス	20:10:7a:ae:76:7c, 20:10:7a:ae:76:7d	
OS	Embedded Linux	
OS バージョン	Linux version 3.2.29	
CPU	Intel(R) family	
ネットワークアダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps	
位置確認	位置確認	

または「ネットワーク設定 > 情報」の「コンピュータ名」を確認してください。

情報

設定

DHCP設定

ポート設定

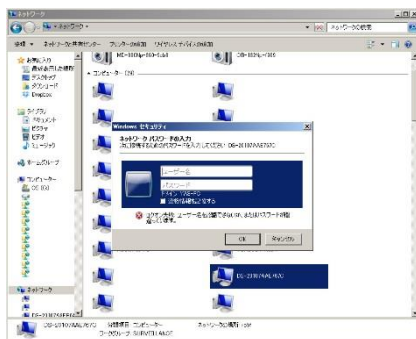
LAN 1

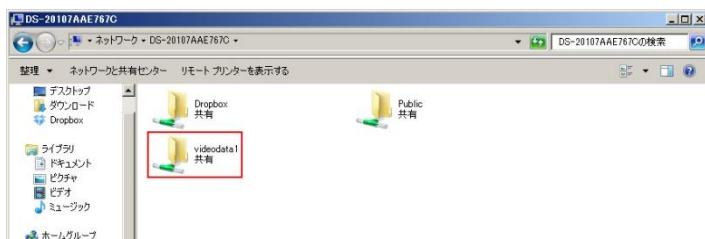
コンピュータ名	DS-2010TAAW767c
IPアドレス	192.168.0.39
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1
プライマリ DNSサーバー	192.168.0.1
セカンダリ DNSサーバー	

 LAN 0

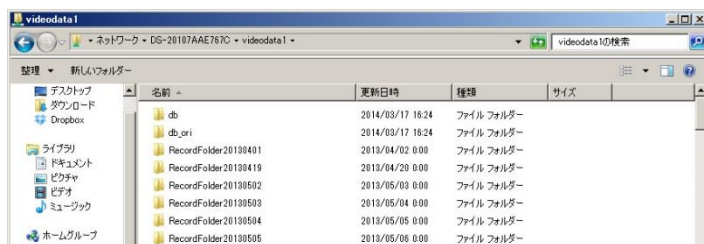
 LAN 0

NVR のアイコンをダブルクリックしてください。ユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。初期値はどちらも「admin」です。





「videodata1」のフォルダーの中に録画映像が保存されています。



フォルダー内には「RecordFolder」という名のフォルダーが時系列で並んでいます。

録画映像は 5 分ごとのファイルで保存されています。再生したいファイルを選んでください。

●IP アドレスの入力

スタート・メニューに「¥¥ (NVR の IP アドレス)」を入力しても、同様に録画ファイルにアクセスできます。

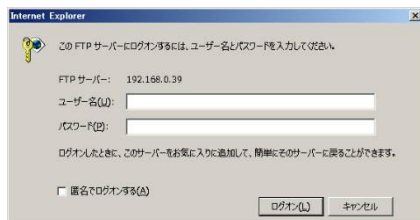


4.3.2 FTP サービス

Internet Explorer を使って FTP サービスを利用できます。アドレス・バーに

ftp:// (NVR の IP アドレス)

を入力して「Enter」を押してください。ユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。初期値はどちらも「admin」です。



ログオンするとフォルダー一覧が表示されます。「videodata1」をクリックします。

フ
ォ
ル
ダ
ー
内
に
は



「RecordFolder」という名のフォルダーが時系列で並んでいます。その中に録画ファイルが 5 分ごとに保存されています。

5.0 設定

設定ページでは、クイック設定、カメラ、録画とイベント、ディスク管理、ネットワーク管理とシステムの設定を行えます。

注意：設定ページを表示してから待機時間が 10 分を経過すると、セキュリティのために自動的にログアウトさせられます。

5.1 IP カメラ

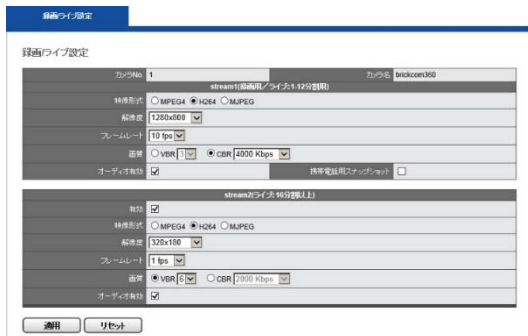


5.1.1 カメラ設定

2.3.6 を参照してください。

5.1.2 録画／ライブ表示設定

メニューの中の「録画／ライブ表示設定」を選択してください。



カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、NVR は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は録画用、及び 1/12 分割表示に使用するライブ映像用で普通は高画質設定を行います。ストリーム 2 は 16 分割以上の小さなライブ映像を表示するために使い、普通は低画質設定を行います。それぞれ最適の解像度、フレームレート、画質を設定してください。

リスト

No.	カメラ名	IPアドレス	メーカー	型番	カメラへのリンク
1	brickcom360	192.168.0.80	Brickcom Corporation	Brickcom-360N-360	ブラウザで開く
2	BB-HCM580	192.168.0.201	Panasonic	BB-HCM580	ブラウザで開く
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Panasonic	BB-HCM715	ブラウザで開く
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Panasonic	BB-HCM735	ブラウザで開く
5	Camera 5	192.168.0.78	Tallex	NiC-130P	ブラウザで開く
6	Camera 6	192.168.0.61	Tallex	NiC-130P	ブラウザで開く
7	3500	192.168.0.143	SANYO	VCC-HD3500	ブラウザで開く
8	3300	192.168.0.105	SANYO	VCC-HD3300	ブラウザで開く
9	2500	192.168.0.144	SANYO	VCC-HD2500	ブラウザで開く
10	tallex3	192.168.0.82	Tallex	NSC-130	ブラウザで開く
11	2300	192.168.0.165	SANYO	VCC-HD2300	ブラウザで開く
12	test1	192.168.0.135	iCanTek	test340M	ブラウザで開く
13	tallex4	192.168.0.79	Tallex	NiC-130P	ブラウザで開く
14					ブラウザで開く
15					ブラウザで開く
16					ブラウザで開く

録画
／
ライブ
映像
表示
設定
を行
う時
は、

先に下段にあるカメラ・リストから、設定したいカメラを選んでください。上段に設定情報が読み込まれます。

●映像形式

ライブ映像表示／録画で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

●フレームレート

ライブ映像表示／録画時のフレームレートを選択してください。実際に表示／録画できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●解像度

ライブ映像表示／録画で使用する解像度を選択してください。

●画質

VBR（流動的なビットレート）か CBR（固定的なビットレート）を選択し、画質を選んでください。

● オーディオ

オーディオ機能を有効にする時はチェックを入れてください。

「カメラの設定ページ」から、カメラの設定ページへ移動することができます。

5.1.3 カメラの状態

「カメラの状態」をクリックすると NVR に登録しているカメラの状態を確認できます。

カメラの状態						
カメラの状態						
No.	カメラ名	IPアドレス	接続状態	録画状態	フレームレート (fps)	ビットレート (Kbps)
1	brickcom360	192.168.0.90	Connected	Recording	20 fps	4262.9 Kbps
2	BB-HCM580	192.168.0.201	Connected	Recording	4 fps	738.9 Kbps
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Connected	Recording	1 fps	282.3 Kbps
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Connected	Recording	3 fps	607.4 Kbps
5	Camera 5	192.168.0.78	Connected	Recording	5 fps	2445.8 Kbps
6	Camera 6	192.168.0.81	Connected	Recording	0 fps	281.6 Kbps
7	3500	192.168.0.143	Connected	Recording	5 fps	3481.7 Kbps
8	3300	192.168.0.105	Connected	Recording	15 fps	2975.1 Kbps
9	2500	192.168.0.144	Connected	Recording	5 fps	2667.7 Kbps
10	takex3	192.168.0.82	Connected	Recording	0 fps	272.8 Kbps
11	2300	192.168.0.165	Connected	Recording	15 fps	2985.7 Kbps
12	test	192.168.0.135	Connected	Recording	25 fps	1512.7 Kbps
13	takex4	192.168.0.79	Disconnected	Stopped	0 fps	0 Kbps
14			-	-	0 fps	0 Kbps
15			-	-	0 fps	0 Kbps
16			-	-	0 fps	0 Kbps
						22497 Kbps

接続状態が「Connected」は、カメラと NVR が正常に接続できている状態を表します。「Disconnected」は何らかの理由で接続できていない状態です。「Connected」でも、イベント録画でイベントが発生していない時やスケジュールされていない時間帯は録画状態が「Stopped」になります。

5.2 録画とイベント

「録画とイベント」ページでは、イベントの定義とその処理、録画のスケジュールなどを設定します。



ハードディスクが本体に取り付けられていない状態でこのページを表示するとエラー・メッセージがポップアップします。ハードディスクを取り付けてから設定してください。

5.2.1 録画モード

録画モードには「No Recording (録画しない)」「イベント録画」「スケジュール録画」「常時録画」の4タイプあります。カメラごとにモードを設定できます。



- **No Recording** : 全てのカメラで録画をしないモードです。
- **イベント録画** : イベントをトリガーにして録画を行うモードです。
- **スケジュール録画** : 決められたスケジュールに従って録画を行うモードです。「録画スケジュール」タブでスケジュールを作成します。
- **常時録画** : 連続的に録画するモードです。

DIGISTOR は次の2通りの方法で付録録画ファイルを削除します。

●**自動リサイクル**：HDD の使用率が一定の値に達すると古いファイルを削除する方法です。20?90 までの値（%）を設定してください。例えば「70」を設定すると、HDD の使用量が 70%に達すると、古いファイルから削除していき、使用率 70%を保つようにします。

●**強制保存**：録画ファイルを保存する日数を決め、その期日が過ぎたファイルを削除していきます。HDD の使用率は問わないため、設定した日数が経過しない限りファイルが削除されないことに注意してください。その期日が訪れるまでに HDD の容量が一杯になると、それ以上の録画ができなくなります。

設定が終わったら「適用」をクリックして設定を反映させます。

5.2.2 録画スケジュール

全てのカメラに録画スケジュールを設定することができます。

録画モード 録画スケジュール

録画スケジュール

リスト

◎ 日 ○ 週

ーリスト

brickcom360

BB-HCM580

BB-HCM715

BB-HCM735

Camera 5

Camera 6

3500

3300

2500

take3

2300

test

take4

Camera14

Camera15

Camera16

開始 終了

00:00 24:00

録画

全てを削除

削除

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Cam1

Cam2

1) スケジュールの挿入

開始時間と終了時間をセットして「挿入」をクリックしてください。

The screenshot shows the '録画スケジュール' (Recording Schedule) window. On the left is a 'リスト' (List) of cameras including brickcom360, BB-HCM580, BB-HCM715, BB-HCM735, Camera 5, Camera 6, 3500, 3300, 2500, take3, 2300, test, take4, Camera14, Camera15, and Camera16. The main area has '開始' (Start) and '終了' (End) time pickers set to 14:00 and 20:00 respectively. Below these are checkboxes for '選択項目も適用' (Apply selected items) and '全てを適用' (Apply all). A grid of checkboxes allows selecting specific cameras or items like 3500, 3300, 2500, take3, 2300, test, Cam 14, Cam 15, and Cam 16. The 'brickcom360' checkbox is checked. An '挿入' (Insert) button is present. Below the grid is a table showing scheduled recordings:

開始	終了	録画
02:00	03:00	Always
10:00	11:00	Always
14:00	20:00	Always

At the bottom, there is a '全てを削除' (Delete all) button and a Gantt chart showing recording times for Cam1, Cam2, and Cam3 across a 24-hour period.

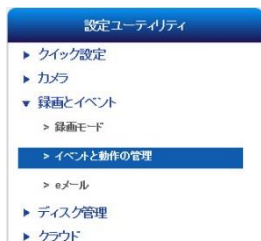
この例では最初のカメラに対して（チェック・ボックスにチェックを入れて選択）、0200?0300、1000?1100、1400?2000 のスケジュールを一つずつ「挿入」し、最後に「適用」ボタンをクリックすれば、図のように録画を行う時間帯にグラフが表示されます。

2) スケジュールの削除

スケジュールを示すグラフをクリックすると、上の表にその情報が表示されます。その後、「削除」をクリックすると該当するスケジュールが削除されます。

5.2.3 イベントと動作の管理

「イベントと動作の管理」のメニューをクリックしてください。



「イベントと動作の管理」では、アラームが発生した時、NVR がどのような動作を行うのか定義できます。センサーなどセキュリティ機器と連動させることで、より効果的な監視が行えるでしょう。

1) イベントと動作



NVR はカメラに入ったイベントのトリガーごと、異なる動作を設定することができます。イベントには以下の種類があります。

- ① 接続不良
- ② モーション検知
- ③ デジタル入力
- ④ NVR のイベント：接続不良／録画エラー／デジタル入力
- ⑤ 外部イベント（HTTP_in）

イベントと動作は、次の方法で設定します。



設定したいカメラとイベントを選択して「追加」をクリックします。
注意： イベントと動作を定義づけしない限りこの機能は有効になりません。

1. 接続不良

「Eメールを送る」「デジタル出力」
「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラとの接続が途切れた時、設定した動作を行います。

イベント録画
Eメールを送る
デジタル出力
ユーザー規定の動作
SMS

●Eメールを送る



「E メールを送る」を選択すると、Eメールの受信者を設定する画面がポップアップします。まだ受信者の設定を行っていない時は、「録画とイベント > Eメール」で設定します。

「スナップショットを添付」にチェックを入れていたら、イベント発生時にスナップショットを撮影してメールに添付します。

注意：カメラが接続不良の時は正常にスナップショットを撮影できないことがあります。

最後に「適用」をクリックして設定を登録します。

Eメール送信は20秒間隔で行われます。例えば1分間イベントが続いたとしたら、メールは3通送信されることになります。

●デジタル出力

デジタル出力を選択すると、「デジタル出力」設定ウィンドウが表示されます。

ブザーは、60秒間鳴らすことができます。

注意：NVR正面のUSBバックアップ・ボタンを1秒間押せばブザーを止めることができます。バックアップ・ボタンがついているのはDS-8200-RM Proシリーズ、DS-4200-RM Proシリーズ、DS-4200 Proシリーズ、DS-4000シリーズとDS-2000 Proシリーズです。

デジタル出力1とデジタル出力2は最長60秒間有効になります。適用するカメラを選択してください。



● ユーザー規定の動作

イベントがトリガーされた時、HTTP command をネットワーク機器に送信するよう設定できます。送信先となる機器の IP アドレスとポート番号、送信する HTTP command を「HTTP URL」に入力してください。またその機器にログインする際に必要になるユーザー名とパスワードも入力してください。

Action Digital Output Configuration -- Web ページ ダイアログ

ユーザー規定の動作設定

動作の名前	
IPアドレス	
ポート	
HTTP URL	
ユーザ名	
パスワード	

選択項目を適用 ☒ 全て

☒ brickcom360	☐ BB-HCM580	☐ Camera 3	☐ BB-HCM735
☐ Camera 5	☐ Camera 6	☐ 3500	☐ 3300
☐ 2500	☐ takex3	☐ 2300	☐ test
☐ takex4	☐ Camera 14	☐ Camera 15	☐ Camera 16

注意: このオプションは他のカメラにも適用されます。

OK

SMS

本機能は日本国内の SMS には対応していません。

2. モーション検知

「イベント録画」「Eメールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラがモーションを検知した時、設定した動作を行います。

● イベント録画

イベント録画とビデオ・クリップの2種類があります。

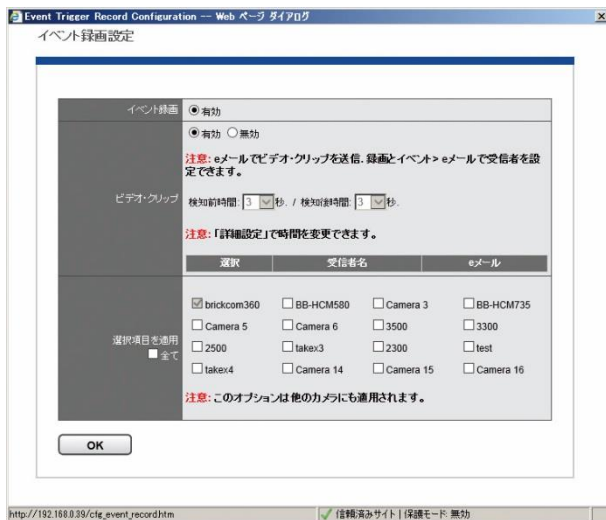
イベント録画: イベントが発生すると5分間の映像を記録します。

イベントが継続的に発生するとその間、録画も継続されます。

ビデオ・クリップ: Eメールでビデオ・クリップを送信します。

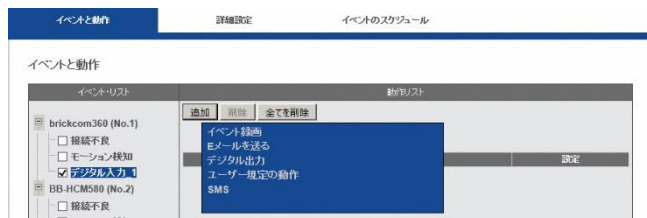
詳細設定で、イベント発生前後に記録する時間(秒数)を設定できます。

設定するカメラを選択したら「適用」をクリックします。



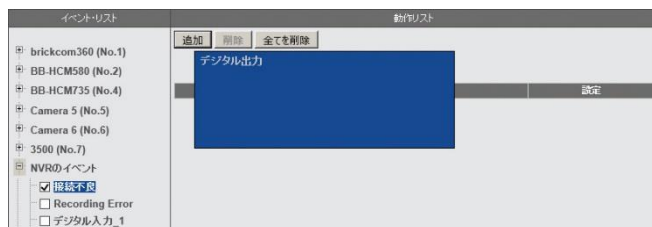
3. デジタル入力

「イベント録画」「Eメールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラのデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。



4. NVR のイベント : 接続不良

「デジタル出力」を選択できます。NVR がネットワーク接続を失うと、この動作を行います。



5. NVR のイベント : 録画不良

「Eメールを送る」「SMS」から動作を選択できます。NVR が録画に失敗すると、この動作を行います。



6. NVR のイベント : デジタル入力

「イベント録画」「E メールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。NVR のデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。



7. 外部イベント (HTTP-in)

「イベント録画」「E メールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。

外部の機器から NVR に対して HTTP-in CGI command が送信されると設定した動作を行います。全部で 5 種類の CGI command とそれに対応する動作を設定できます。

HTTP-in CGI command は次のように記述します：

```
http://<NVR_IP>/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc  
.cgi&eventName=Defined_<int>
```

<NVR_IP>は、外部機器が NVR にアクセスできる IP アドレスです。

<int>は、外部イベントの番号（1-5）です。

例：

```
http://192.168.1.245/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event  
_ipc.cgi&eventName=Defined_3
```

最後に「適用」をクリックして設定を保存します。

5.2.4 詳細設定

イベントと動作
詳細設定
イベントのスケジュール

動作トリガー間隔
30
秒

ビデオ・クリップ

右の秒数より前から録画開始
3
秒
< イベント前 >

右の秒数(秒)に録画停止
3
秒
< イベント後 >

録画モード

右の秒数より前から録画開始
30
秒
< イベント前 >

右の秒数(秒)に録画停止
30
秒
< イベント後 >

音声でイベント録画
☐

ヒント: 時「音声でイベント録画」を有効にすると、事件が発生するまで全てのカメラが録音しません。事件が停止すると、録音も停止します。録音の機能には影響しません。

適用
リセット

●動作トリガー間隔

この間隔内でトリガーが入ると連続的に動作を行います。

●ビデオ・クリップと録画設定

トリガーが入る前後それぞれ何秒間を録画するのかを設定します。イベント発生前 300 秒間、イベント終了後 300 秒間まで設定できます。

●イベント録画のみオーディオ保存

この項目にチェックを入れると、通常はオーディオを保存しませんが、イベント発生時のみオーディオを保存します。イベントが終了すると自動的にオーディオは無効になります。

「適用」をクリックして設定を保存してください。

5.2.5 イベントのスケジュール

イベントを常時ではなく決められた時間帯のみ検知することができます。

イベント・スケジュールの設定

A. 「イベントと動作の管理」でイベントと動作の設定を行います。

注意：イベントと動作は、自動的に「常時」モードの設定になります。

B. 「イベントのスケジュール」タブをクリックします。



C. スケジュールの設定を行います。

週単位、日単位どちらのスケジュールを組むのかを決めます。

● 日単位



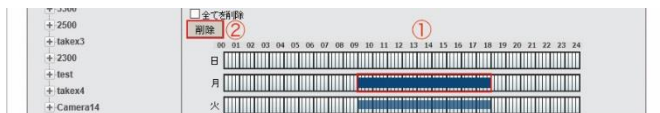
1. カメラを選択します。
2. 開始／終了時刻を設定します。
3. 「挿入」をクリックします。
4. グラフが表示されます。
5. スケジュール一覧に結果が表示されます。
「適用」をクリックして設定を保存します。

●週単位



1. スケジュールを適用する曜日を選択します。
2. 開始／終了時刻を設定します。
3. スケジュールを適用するカメラを選択します。
4. 「挿入」をクリックします。
5. グラフが表示されます。
6. スケジュール一覧に結果が表示されます。
「適用」をクリックして設定を保存します。

●スケジュールの削除



1. 削除したいグラフをクリックします。
 2. 「削除」をクリックします。グラフとリストが同時に削除されます。
 3. あるカメラのスケジュール全てを削除したい時は、グラフを選択した後で「全てを選択」にチェックを入れて「削除」をクリックします。
- 注意：**スケジュールが全て削除された場合、「常時」イベントが動作することになります。

5.2.6 Eメール

「録画とイベント」の「Eメール」を選択してEメールに関する設定を行います。

▼ 録画とイベント
> 録画モード
> イベントと動作の管理
> Eメール

SMTP サーバー



SMTPサーバー

送信者

SMTPサーバー

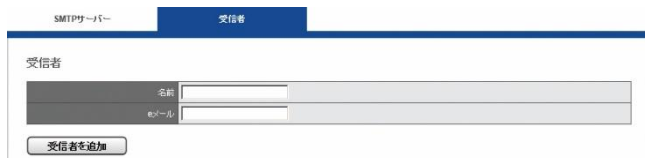
サーバー・アドレス		ポート	25
送信者			
件名	(最大文字数: 64 文字)		
本文	(最大文字数: 127 文字)		
認証	PLAIN ☒		
ユーザー名		パスワード	

- **サーバー・アドレス**: SMTP サーバーのアドレスを入力します。
- **送信者**: 送信者の E メール・アドレスを入力します。
- **件名と本文**: メールの件名と通知文面を入力します。
- **認証**: お使いになる SMTP サーバーに応じた認証形式を選択してください。
- **ユーザー名とパスワード**: SMTP サーバーで使用する情報を入力します。

「適用」をクリックして完了するか、「テスト・メールを送信」をクリックして設定が有効かどうかを確認してください。

受信者

「受信者」タブをクリックして E メールを受信するアドレスを追加します。



SMTPサーバー

受信者

受信者

名前	
Eメール	

「名前」と対応する「E メール」を入力して「受信者を追加」をクリックしてください。追加すると「受信者リスト」に名前とアドレスが表示されます。

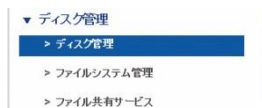
「適用」をクリックして設定を保存します。

5.3 ディスク管理

RAID を新規作成する時、またディスク・ボリュームを削除したりフォーマットしたりする時はメニューの「ディスク管理」をクリックします。またこのページではファイル共有サービスの設定も行えます。

5.3.1 ディスク管理

「ディスク管理」メニューの「ディスク管理」を選択してください。



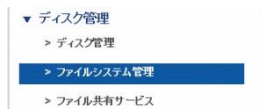
ディスク情報

HDD が 1 台も取り付けられていない時は、そのことを示すメッセージが表示されます。

ディスク・ボリュームの作成と削除についてはクイック設定のディスク管理 (2.3.5) を参照してください。

5.3.2 ファイル・システム管理

「ディスク管理」メニューの「ファイル・システム管理」を選択してください。



HDD が 1 台も取り付けられていない時はそのことを示すメッセージが表示されます。ディスク・ボリュームが存在すればファイル・システム

△情報が表示されます。

ファイルシステムリスト	ファイルシステム情報
■ ファイルシステム・リスト Volume1 [1833.78 GB,RAID A]	名前 Volume1 容量 1833.78 GB 使用容量 1302.35 GB, 75.38% デバイス RAID A 状態 マウント済み

フ
ア
イ
ル
・
シ
ス
テ
ム

情報では、ディスク・ボリュームの容量、使用している容量、HDDの状態などが表示されます。

5.3.3 ファイル共有サービス

「ディスク管理」メニューの「ファイル共有サービス」を選択してください。

▼ ディスク管理
 > ディスク管理
 > ファイルシステム管理
 > **ファイル共有サービス**

DIGISTOR が対応しているファイル共有サービスには「Windows ネットワーク」と「FTP」の二つがあります。

情報

Windowsネットワーク

FTPサービス

サービス・リスト	状態	動作	リンク
Windowsネットワーク	ON	無効	リンク
FTPサービス	ON	無効	リンク

1. 情報

ファイル共有サービスの状態と有効／無効の切り換え、FTP 及び共有フォルダを開くことができます。

2. Windows ネットワーク

サービスの有効／無効の切り換え、コンピューター名の変更などを行います。

情報 Windowsネットワーク FTPサービス

Windows設定

サービス	☒ 有効 ☐ 無効
コンピュータ名	DS-20107aae767c
コンピュータの説明	NVR
ドメインまたはWorkgroup名	Surveillance

3. FTP サービス

サービスの有効／無効の切り換え、使用するポートの変更などを行います。

情報 Windowsネットワーク FTPサービス

FTP設定

サービス	☒ 有効 ☐ 無効
コマンド・ポート	21
パッシブ・ポート	1024 ~ 65535

注意: ポート1234~1362とその他一部のポートはシステムがリザーブしています。

5.3 クラウド

DIGISTOR は録画ファイルを Dropbox にアップロードしてバックアップを取る機能を持ちます。アップロードした録画ファイルはそのリンクを共有できます。

「クラウド」メニューの「Dropbox」を選択して設定を行います。

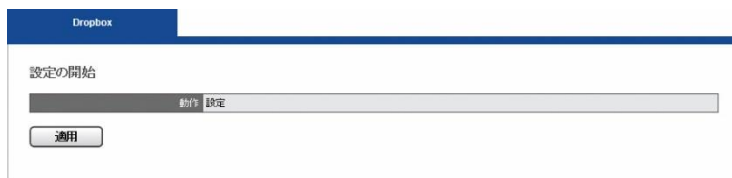
▼ クラウド

> Dropbox

注意：本機能は Dropbox のアカウントを有しており、サービスの内容を熟知している方のみご利用ください。

5.4.1 Dropbox の設定

「適用」をクリックして Dropbox の設定を開始します。



Dropbox にログインするためのユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。



Dropbox に NVR を登録するため、再度パスワードを入力するウィンドウが表示されます。



登録が完了すると、Dropbox 内に自動的に「Dropbox」という名称のフォルダーが自動的に作成されます。



設定が完了すると設定ページの表示が次のように変更されます。
Dropbox 設定を削除したい時は「適用」をクリックしてください。



5.4.2 Dropbox サーバーへの共有ファイルの移動

「Public (snapshot、設定ファイルなど)」「Videodata1 (録画ファイルとビデオ・クリップ)」フォルダー内のファイルを「Dropbox」フォルダーへ移動させることで、そのファイルをクラウドで共有できます。

5.4.3 設定の削除とオンライン同期

キーボードの「F5」ボタンを押すと画面が再読み込まれ、次の情報が表示されます。

The screenshot shows a web interface for Dropbox settings. At the top, there are two tabs: 'Dropbox' (selected) and '詳細設定'. Below the tabs, the '設定の開始' (Start Settings) section is visible, containing a progress bar and a '適用' (Apply) button. The 'オンライン同期' (Online Sync) section is also visible, showing a table with columns for '有効' (Enabled) and '状態' (Status). The table has one row with a checked checkbox and the text 'Dropbox フォルダー'. Below the table, there is a '適用' (Apply) button.

有効	状態
☒	Updating 1 file, 16 secs left Downloading 1 file (6,566 KB/sec, 16 secs left)

1. 設定とデータの削除

「適用」をクリックすると、NVR 内の Dropbox に関する情報と Dropbox フォルダー内のデータが削除されます。

2. オンライン同期

NVR が自動的に Dropbox サーバーと同期するのかが設定できます。同期させる時は「有効」にチェックを入れて「適用」をクリックします。無効にしたい時はチェックを外して「適用」をクリックします。

Dropbox フォルダー

Windows ネットワークを用いて直接「Dropbox」を開くことも可能です。

5.5 ネットワーク設定

5.5.1 ネットワークのセットアップ

「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。

▼ ネットワーク

▶ ネットワーク設定

▶ ネットワーク・サービス

▶ DDNS

1. 情報

情報	設定	ポート設定
LAN 1		
コンピュータ名	DS-20107aae767c	
IPアドレス	192.168.0.39	
サブネット・マスク	255.255.255.0	
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.0.1	
プライマリ・DNSサーバー	192.168.0.1	
セカンダリ・DNSサーバー		

コンピュータ名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリ及びセカンダリ DNS 情報を表示します。

2. 設定

DIGISTOR はデュアル IP アドレスを設定できます。お使いのネットワークに合わせて IP アドレスを使い分けることが可能です。

注意：デュアル IP アドレスに対応しているのは DS-4200 Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズと DS-8200-RM Pro シリーズです。



共有 IP

ネットワーク設定	
ネットワークインターフェイス	☒ 共有 IP ☐ 固有 IP
LAN 1	
コンピュータ名	DS-20107aaa767c
インターネットプロトコル	☒ IPアドレスを自動的に割り付け ☐ 特定のIPアドレスを使用
IPアドレス	192.168.1.245
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

コンピューター名の変更、DHCP または固定 IP の設定を行えます。

●**DHCP** : ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。

●**固定 IP** : DHCP サーバーが存在しない時、DIGISTOR の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」になります。お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。同一ネットワーク内に複数の DIGISTOR が存在する時は、それぞれ異なる IP アドレスを持つように設定してください。

固有 IP

ネットワーク設定	
ネットワークインターフェイス	☐ 共有 IP ☒ 固有 IP
LAN 1	
コンピュータ名	DS-20107aaa767c
インターネットプロトコル	☒ IPアドレスを自動的に割り付け ☐ 特定のIPアドレスを使用
IPアドレス	192.168.1.245
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリ-DNSサーバー	192.168.1.1
セカンダリ-DNSサーバー	

LAN1 と LAN2 で異なるネットワーク設定を用いる場合は「固有 IP」を選択してください。

3. ポート設定

初期設定は「80」です。DIGISTOR にアクセスする際に使用する HTTP ポートを設定してください。

5.5.2 ネットワーク・サービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください。

▼ ネットワーク
 > ネットワーク設定
 > ネットワーク・サービス
 > DDNS

1. 禁止／許可リスト

禁止
リ
ス
ト
ま

禁止／許可リスト

UPnP

禁止／許可リスト

オプション ☐ 許可リスト ☐ 禁止リスト

追加

No.	IPアドレス	アクセス	削除
-----	--------	------	----

適用 リセット

禁止リストを有効にします。いずれの場合も、本当に有効にするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。その後、禁止または許可する IP アドレスを入力してください。

禁止リストを有効にした場合、登録された IP アドレスから本製品へのアクセスが禁止されます。

許可リストを有効にした場合、登録された IP アドレスからのみ本製品へのアクセスが許可されます。

2. UPnP

禁止／許可リスト

UPnP

UPnP

有効 ☒

UPnP名 DS-2010Taaa767c (最大文字数: 32 文字)

適用 リセット

UPnP の有効／無効を切り換えられます。また UPnP で使用するコンピューター名を変更できます（半角英数で最大 32 文字）。

5.5.3 DDNS

DDNS

サービス ☐ ipcam.jp ☐ nwcam.jp ☐ DynDNS ☐ no-ip

有効	更新サーバー	ユーザ名	パスワード	Host Name
☐	www.ipcam.jp (最大文字数: 64 文字)	(最大文字数: 128 文字)	(最大文字数: 64 文字)	(最大文字数: 128 文字)
☐	www.nwcam.jp (最大文字数: 64 文字)	(最大文字数: 128 文字)	(最大文字数: 64 文字)	(最大文字数: 128 文字)

DDNS (Dynamic Domain Name Service) とは、固定 IP を使ってインターネット経由で DIGISTOR にアクセスする代わりに、動的 IP とドメイン名とをリンクさせて、そのドメイン名を使ってアクセスするサービスです。

DIGISTOR が対応している DDNS は、①ipcam.jp、②nwcam.jp、③DynDNS、④No-IP です。

DDNS の設定を行う前に、必要な情報を DDNS プロバイダーから取得してください。

DDNS

サービス ☒ ipcam.jp ☐ nwcam.jp ☐ DynDNS ☐ no-ip

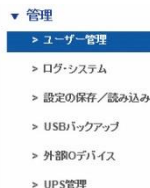
有効	更新サーバー	ユーザ名	パスワード	Host Name
☒	www.ipcam.jp (最大文字数: 64 文字)	001 (最大文字数: 128 文字)	abcdefgh (最大文字数: 64 文字)	digistor (最大文字数: 128 文字)
☐	www.nwcam.jp (最大文字数: 64 文字)	(最大文字数: 128 文字)	(最大文字数: 64 文字)	(最大文字数: 128 文字)

例：ipcam.jp のサービスを利用している場合、「サービス」の ipcam と「有効」にチェックを入れ、プロバイダーから与えられた情報（ユーザー名：001、パスワード：abcdefgh、Host Name：digiever）を入力してください。DIGISTOR は ipcam.jp の DDNS サーバーに動的 IP アドレスの情報を送り、「digiever.ipcam.jp」のドメイン名とリンクさ

せます。ユーザーは IP アドレスに関係なく、「digiever.ipcam.jp」で NVR にアクセス可能になります。

5.6 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、NVR に保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理を行うことができます。



5.6.1 ユーザー管理

「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。DIGISTOR には複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「Power User」と「User」の 2 グループがあり、「Power User」は一部の設定変更が可能です。「User」も設定ページへ移動できますが自分のパスワードしか変更できません。

1. ユーザーの作成

●Power User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「Power User」を選択してください。ライブ映像と録画再生に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。

「適用」をクリックしたらユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

●User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「User」を選択してください。ライブ画像と録画再生に関する権限を設定します。チェックに入ったカメラのみ、ライブ映像及び録画再生が可能になります。

「適用」をクリックしたらユーザーが作戦され「リスト」に表示されます。

ユーザーの作成

ユーザーの変更

パスワードの変更

詳細設定

ユーザーリスト

No.	名前	グループ	ライブ映像	PTZ	IO	マルチサーバー	録画再生
1	pu01	power user	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,12,13,14,15,16	0	0	0	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,12,13,14,15,16
2	u01	user	1	0	0	0	2

ユーザーの作成

ユーザー名

パスワード

グループ

バブーユーザー

☒全て

☒brickcom360
 ☒Camera 5
 ☒2500
 ☒takev4

☒BB-HCM580
 ☒Camera 6
 ☒takev3
 ☒Channel 14

☒Channel 3
 ☒3500
 ☒2300
 ☒Channel 15

☒BB-HCM735
 ☒3300
 ☒test
 ☒Channel 16

☒PTZ制御
 ☒IO制御
 ☒マルチサーバー

☒全て

☒brickcom360
 ☒BB-HCM580
 ☒Channel 3
 ☒BB-HCM735

2. ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。

Userの権限変更を行う時は適宜変更して「適用」をクリックします。
登録しているユーザーを削除する時はリストで選択して「削除」をクリックします。

ユーザーの作成

ユーザーの変更

パスワードの変更

詳細設定

ユーザーリスト

No.	名前	グループ	ライブ映像	PTZ	IO	マルチサーバー	録画再生	削除
1	pu01	power user	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,12,13,14,15,16	0	0	0	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10, 11,12,13,14,15,16	Delete
2	u01	user	1	0	0	0	2	Delete

3. パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。

「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。

ユーザーの作成 ユーザーの変更 **パスワードの変更** 詳細設定

パスワード設定

ユーザー名: admin

新パスワード: (最大文字数: 15 文字)

パスワードの再入力:

適用 リセット

5.6.2 ログ・システム

「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。必ずディスク・ボリュームを作成してから本機能をお使いください。

DIGISTOR が保存するログには次の 6 種類があります: ハードウェア・ログ、NVR ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴、アクセス履歴。

●ハードウェア・ログ

RAID の作成、RAID の削除、RAID の修正、CPU、ブザー、ファン、システム、センサー、USB に関する情報が記録されます。

ハードウェアログ NVR ログ イベント・ログ

現在のユーザー ユーザー履歴 アクセス履歴

ハードウェア・ログ・リスト

日付: All レベル: All ページ: 1 << < > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	メッセージ
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable buzzer notice.
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable fan control.
2014/03/19 21:47:53	info	[HW] System is starting to work.

●NVR ログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定、録画ファイルのエクスポート、ストレージに関する情報が記録されます。

ハードウェアログ	NVRログ	イベントログ
現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴

NVRログ				
日付	レベル	ページ	<< < > >>	表示件数
All	All	1		20
Save				
日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export to file.
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export during 2014-03-21 15:00 to 2014-03-21 16:00.

●イベント・ログ

カメラの接続、カメラの接続不良、デジタル入力、モーション検知、ストレージ使用制限超過などの情報が記録されます。

ハードウェアログ	NVRログ	イベントログ
現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴

イベント・ログ				
日付	レベル	カメラ	ページ	<< < > >>
All	All	All	1	表示件数
20 Save				
日付と時間	レベル	番号	メッセージ	
2014/03/25 12:48:59	notice	1	[Event] Motion detected.	
2014/03/25 12:45:26	notice	1	[Event] Motion detected.	

●現在のユーザー

現在、NVR にログインしているユーザーの情報を表示します。

ハードウェアログ

NVRログ

イベントログ

現在のユーザー

ユーザー履歴

アクセス履歴

現在のユーザー

日付と時間	アカウント	IPアドレス	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	admin	192.168.0.51	[CurUSER] Access /cfg_management_log_currentuser.htm

●ユーザー履歴

NVR にログインしたユーザー情報が記録されます。

ハードウェアログ

NVRログ

イベント・ログ

現在のユーザー

ユーザー履歴

アクセス履歴

ユーザー履歴

日付All

レベルAll

ページ1

<<

<

>

>>

表示件数20

Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 12:51:39	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 11:59:32	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login

●アクセス履歴

SAMBAやFTPを使ってNVRにアクセスした情報が記録されます。

現在のユーザー

ユーザー 履歴

アクセス履歴

接続ログ

日付

All

レベル

All

ページ

1

<<

<

>

>>

表示件数

20

Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

ログ・ファイルのエクスポート

ログ・ファイルをエクスポートして保存することができます。ログごとにファイルが作成されます。html または txt 形式でエクスポートできます。

現在のユーザー

ユーザー履歴

アクセス履歴

接続ログ

日付

レベル

ページ

表示件数

Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

5.6.3 設定の保存と読み込み

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。

▼ 管理

> ユーザー管理

> ログシステム

> 設定の保存／読み込み

> USBバックアップ

> 外部IOデバイス

> UPS管理

● 設定の保存

ボリュームとフォルダーをメニューから選んで保存先を決めます。またファイル名（拡張子は cfg）を決めてください。

注意：

設定を保存		設定の読み込み	
設定を保存			
ボリューム	[devlmd0]		
フォルダー	[Public]		
ファイル名	[]		
備考	カメラ設定、録画設定、イベントと動作の設定、eメール設定、サーバー設定が保存されます。		

設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、Eメール設定、サーバー設定が含まれます。設定ファイルはNVR内の共有フォルダーに保存されます。Windows ネットワークまたはFTPサービスを使えば、PCから設定ファイルにアクセスできます。

● 設定の読み込み

設定ファイルを読み込むことで、別のNVRの設定をコピーすることが出来ます。

設定を保存		設定の読み込み	
設定の読み込み			
設定方法	☒ 初期設定に戻す ☐ 設定の読み込み		
ボリューム	[devlmd0]		
フォルダー	[Public]		
ファイル名	[]		
備考	カメラ設定、録画設定、イベントと動作の設定、eメール設定、サーバー設定を読み込みます。		

「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、録画設定、イベントと動作、Eメール設定、サーバー設定が初期値に戻ります。

「設定の読み込み」を選択して cfg ファイルを選択して「適用」をクリックすると、設定が書き換えられます。

5.6.4 USB バックアップ

NVR 本体正面の USB ポートに USB ストレージを接続し、バックアップ・ボタンを 3 秒間以上押し続けると自動バックアップが始まります。その自動バックアップの設定は、「USB バックアップ」で変更できます。

▼ 管理

- > ユーザー管理
- > ログ・システム
- > 設定の保存/読み込み
- > **USBバックアップ**
- > 外部IOデバイス
- > UPS管理

バックアップ中は、USB インディケータが青色で点滅します。バックアップが完了するとインディケータは消灯します。

注意: USB バックアップ機能が使用できないなどエラーが発生すると、USB インディケータは赤色で点灯します。

注意: USB ストレージをフォーマットすると FAT32 ファイル・システムになります。

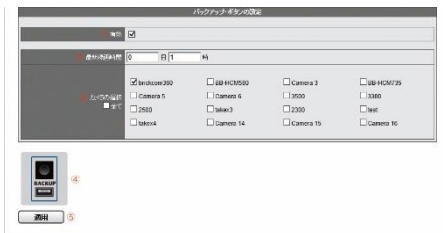
① ここにチェックを入れると USB バックアップ・ボタンが使用可能になります。

② ボタンを押した日時を含む何時間何日前からの録画ファイルをバックアップするのかを設定します。

③ バックアップ・ボタンを押した時、録画ファイルをバックアップするカメラを選択します。選択されなかったカメラの録画データはバックアップされません。

④ USB バックアップ用のポートを図示しています。

⑤ 最後に「適用」をクリックすると設定が反映されます。



1. USB バックアップ

USB ストレージを NVR 本体正面の USB ポートに接続すると、「デバイス情報」に USB ストレージの情報が表示されます。



USB ストレージが「準備完了」になると、USB インディケーターは青色で点灯します。バックアップを開始すると、状態が「作業中」となり、情報にはコピー中のファイル数が表示されます。



USB ストレージを初期化する時は「フォーマット」ボタンをクリックします。

注意：USB バックアップ・ボタンを有しているのは DS-2000 シリーズ、DS-4000 シリーズ、DS-4200 Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-8200-RM Pro シリーズです。

注意：録画ファイルとともに DIGIPlayer と DIGICheck がダウンロードされます。

2. DVD へのバックアップ

USB 接続できる DVD ドライブを NVR に接続し、正常に認識されると、USB インディケーターは青色で点灯して「状態」が準備完了になります。



注意：DVD ドライブに対応しているのは DS-4200 Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-8200-RM Pro シリーズのみです。

注意：DVD ドライブ内に DVD メディアが挿入されていない時は USB 機器として認識されません。

注意：DVD ドライブに対してバックアップが行われると、録画ファイルとともに DIGIPlayer と DIGICheck が DVD にコピーされます。

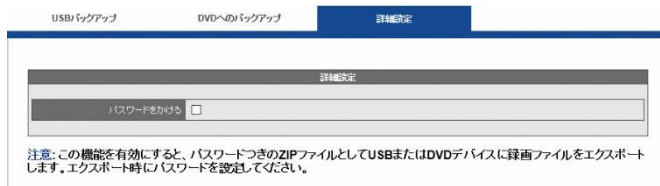
注意：ロジテック INA ソリューションズ株式会社ポータブル DVD ドライブ「LDR-PMG8U2LBK」で動作確認を行っております。

3. 詳細設定

録画ファイルをエクスポートする際、パスワードによる保護を行います。録画ファイルはパスワードつき zip ファイルに圧縮されます。

注意：この機能に対応しているのは DS-4200 Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-8200-RM Pro シリーズのみです。

注意：パスワードによる保護を行えるのはエクスポート時のみです。バックアップ・ボタンを用いた時はパスワードによる保護は行われません。



チェックを入れた後、「適用」をクリックしてください。
 エクスポート（左上）が完了するとパスワードを入力するためのウインドウ（右上）が表示されます。
 zip ファイルを解凍する時、この時に決めたパスワードを使用してください。

5.6.5 外部 IO 機器

ネットワーク・リレーなどの IO 機器を NVR に登録して、その外部入出力を利用することができます。「管理」メニューから「外部 IO 機器」を選択してください。

▼ 管理

- > ユーザー管理
- > ログ・システム
- > 設定の保存/読み込み
- > USBバックアップ
- > 外部IOデバイス
- > UPS管理

機器名称、IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して「検出」をクリックしてください。ネットワーク上に設定した機器があれば登録されます。「メーカー」と「型番」は自動で表示されます。「適用」をクリックして保存します。

デバイス設定

イベント

デバイス設定

デバイス番号	Device 1		
デバイス名			
IPアドレス		ポート	80
管理番号		パスワード	
メーカー		型番	

適用

リセット

検出

リスト

No.	デバイス名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1			80			

リストには登録された機器の名称、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が表示されます。

登録された機器に応じて、「イベント」タブ内にイベント・リストが表示されます。

5.6.6 UPS 管理

UPS を用いて NVR の電源を管理できます。
「管理」メニューから「UPS 管理」を選択してください。



注意: DIGISTOR シリーズが対応している UPS はユタカ電機製作所の常時インバーター・モデル「UPS510SS」と「UPS1010SS」です。

● UPS 機器情報

メーカー名、型番、AC 電源の状態、バッテリーの容量、予想保護時間が表示されます。予想保護時間はモニタリングのみ行っている状態が基準です。

● UPS 管理設定：スマート・シャットダウンと復旧

「有効」にチェックを入れ、UPS のバッテリー容量がどれだけになったら NVR がスマート・シャットダウンを行うのか設定します。この機能を用いると、停電になり、UPS のバッテリーが指定の容量に達しても停電が復旧しないと、NVR はスリープ・モードでシャットダウンします。UPS のバッテリー容量が指定値を上回ると（＝停電から復旧すると）NVR は自動的に起動します。

5.7 システム

5.7.1 機器情報

「システム」メニューから「機器情報」を選択します。

▼ システム

> デバイス情報

- > システムのアップグレード
- > 言語
- > 日付と時間
- > ブザー
- > 再起動とシャットダウン

● システム情報

オペレーティング・システム、OS バージョン、NVR バージョン、CPU、ネットワーク・アダプター、MAC アドレス、ネットワーク・フロー情報を表示します。

位置確認：

ボタンをクリックすると 3 秒間、NVR 本体からブザーが鳴ります。複数の DIGISTOR を運用している時など、位置を特定するのに便利です。

情報

型番	NVR-4116
ファームウェアバージョン	2.1.1.50-1
MACアドレス	20:10:7a:ae:76:7c, 20:10:7a:ae:76:7d
OS	Embedded Linux
OSバージョン	Linux version 3.2.29
CPU	Intel(R) family
ネットワークアダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps
位置確認	位置確認

● エンクロージャー情報

CPU の温度、ファンの状態などが表示されます。

注意：NVR の動作環境は 0～40 度です。

Temperatures

CPUの温度	49 °C
VFMの温度	40 °C
システムの温度	38 °C

ファンの回転速度

CPUのファン	1708 RPM
システムのファン 1	952 RPM
システムのファン 2	1814 RPM

5.7.2 システムのアップグレード

ブラウザを用いて、またはローカル・ディスプレイを操作して、NVR のファームウェアをバージョン・アップできます。

注意：お使いの NVR のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

注意：バージョン・アップは必ず順番に行ってください。バージョンを飛ばしてアップデートするとカーネル情報が更新できず、システムが正常に起動しないことがあります。また 40 台のバージョンから 50 台にアップデートする時は、ディスク・ボリュームを一度削除して再作成する必要があります。

1. ブラウザを用いたアップグレード

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを www.digiever-j.com からダウンロードして、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍します。
- (3) 「設定」ページへ移動し、「システム」メニューから「システムのアップグレード」を選択します。
- (4) 「参照」をクリックして保存したファームウェア・ファイルを指定します。



- (5) 「アップグレード」をクリックしてファームウェアの更新を行います。システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

2. ローカル・ディスプレイを操作してのアップグレード

注意：ローカル・ディスプレイでのアップグレードは DS-8200-RM Pro シリーズ、DS-4200-RM Pro シリーズ、DS-4200 Pro シリーズ、DS-2100 Pro シリーズ、DS-1100 Pro シリーズでの対応となります。

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを www.digiever-j.com からダウンロードして、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍して USB ストレージに保存します。

注意：USB ストレージは FAT32 ファイル形式でフォーマットしてください。また作業を円滑にするため、「update.bin」ファイルのみ保存した状態にしてください。

FAT32 ファイル形式のフォーマット方法：

- I. 「マイコンピュータ」を開きます。
- II. USB ストレージ（フラッシュ・メモリー）を選択、右クリックして「フォーマット」を選択します。
- III. 「ファイル・システム」の「FAT32」を選択します。
- IV. 「開始」ボタンをクリックしてフォーマットを実行します。
- (3) NVR にローカル・ディスプレイと USB ストレージを接続します。
- (4) NVR とローカル・ディスプレイに電源を入れて NVR にログインします。
- (5) 「設定」ページへ移動し、「システムのアップグレード」を選択します。接続した USB ストレージの「状態」が「準備完了」の表示ならアップグレードを実行できます。
- (6) システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

5.7.3 言語

「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択する

と、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。

5.7.4 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。

- ▼ システム
 - > デバイス情報
 - > システムのアップグレード
 - > 言語
 - > **日付と時間**
 - > プザー
 - > 再起動とシャットダウン

●セッアップ

手動で設定する時は年月日と時刻を選択して「適用」をクリックしてください。

●タイム・ゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。

NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

設定 タイムゾーン

タイムゾーン設定

タイムゾーン	(GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo
☐ 夏時間自動で調整する	
外部のNTPサーバーと時刻同期	time.stftime.gov.tw
NVRにビルトインされたNTPサーバー	192.168.0.39

適用 リセット

NVR にビルトインされた NTP サーバー：

NVR を NTP サーバーとして利用することができます。システム内の全ての機器で時刻同期を行う場合に役立ちます。同メニューに表示された IP アドレスを NTP サーバーのアドレスとして、同期させたい機器を設定してください。

5.7.5 ブザー

「システム」のメニューから「ブザー」を選択してください。

- ▼ システム
 - > デバイス情報
 - > システムのアップグレード
 - > 言語
 - > 日付と時間
 - > ブザー
 - > 再起動とシャットダウン

警告時に使用するブザーのオン／オフを選択できます。オフにすると、デジタル出力時の動作である「ブザー」が実行されなくなります。

注意：「USB バックアップ・ボタン」の長押しでブザーを停止することができます。

ブザー

ブザー設定

ブザー警告 ☒ 有効 ☐ 無効

適用 リセット

5.7.6 再起動とシャットダウン

「システム」のメニューから「再起動とシャットダウン」を選択してください。



「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。
「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。